

【表紙】

【提出書類】 半期報告書

【提出先】 関東財務局長殿

【提出日】 2026年3月31日提出

【計算期間】 第2期中(自 2025年7月1日 至 2025年12月31日)

【ファンド名】 マスターズ・マルチアセット・ファンド(安定型)
マスターズ・マルチアセット・ファンド(バランス型)
マスターズ・マルチアセット・ファンド(積極型)

【発行者名】 アセットマネジメントOne株式会社

【代表者の役職氏名】 取締役社長 杉原 規之

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号

【事務連絡者氏名】 積木 利浩

【連絡場所】 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号

【電話番号】 03-6774-5100

【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

1【ファンドの運用状況】

(1)【投資状況】

マスターズ・マルチアセット・ファンド(安定型)

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	158,124,977	14.01
内 アメリカ	158,115,648	14.01
内 日本	9,329	0.00
親投資信託受益証券	721,439,201	63.93
内 日本	721,439,201	63.93
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	248,883,598	22.06
純資産総額	1,128,447,776	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

マスターズ・マルチアセット・ファンド(バランス型)

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	756,228,312	20.80
内 アメリカ	756,209,653	20.80
内 日本	18,659	0.00
親投資信託受益証券	2,287,961,407	62.92
内 日本	2,287,961,407	62.92
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	591,999,220	16.28
純資産総額	3,636,188,939	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

マスターズ・マルチアセット・ファンド(積極型)

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	227,457,257	17.74
内 アメリカ	227,337,157	17.73
内 日本	120,100	0.01
親投資信託受益証券	972,265,517	75.82
内 日本	972,265,517	75.82
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	82,599,444	6.44
純資産総額	1,282,322,218	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

(参考)

国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	782,343,453,260	97.82
内 日本	782,343,453,260	97.82
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	17,449,582,414	2.18
純資産総額	799,793,035,674	100.00

その他資産の投資状況

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引(買建)	17,527,300,000	2.19
内 日本	17,527,300,000	2.19

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

(注3) 先物取引の時価は、原則として計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	2,341,103,339,426	96.54
内 アメリカ	1,707,751,127,299	70.42
内 イギリス	91,476,924,061	3.77
内 カナダ	88,726,087,288	3.66
内 スイス	66,308,510,038	2.73
内 ドイツ	59,185,168,761	2.44
内 フランス	58,659,576,534	2.42
内 オランダ	45,096,504,209	1.86
内 アイルランド	40,777,223,850	1.68
内 オーストラリア	38,905,792,560	1.60
内 スペイン	23,786,051,849	0.98
内 スウェーデン	21,645,492,031	0.89
内 イタリア	18,151,480,437	0.75
内 デンマーク	12,674,813,454	0.52
内 香港	9,499,879,275	0.39
内 シンガポール	9,233,877,915	0.38
内 フィンランド	7,149,009,042	0.29
内 イスラエル	7,089,486,846	0.29
内 ベルギー	5,682,333,799	0.23
内 ケイマン諸島	4,518,213,833	0.19
内 ジャージー	4,392,416,913	0.18
内 ノルウェー	3,879,183,749	0.16
内 ルクセンブルグ	3,676,964,831	0.15
内 リベリア	2,614,198,301	0.11
内 バミューダ	2,610,702,956	0.11
内 オランダ領キュラソー	2,112,633,447	0.09
内 オーストリア	1,800,458,247	0.07
内 ニュージーランド	1,429,130,607	0.06
内 ポルトガル	1,190,292,882	0.05
内 パナマ	952,768,975	0.04
内 マン島	127,035,437	0.01
新株予約権証券	0	0.00
内 カナダ	0	0.00
投資信託受益証券	2,863,630,716	0.12
内 オーストラリア	2,212,951,416	0.09
内 シンガポール	650,679,300	0.03
投資証券	33,590,646,771	1.39
内 アメリカ	31,848,376,806	1.31

内 フランス	811,996,851	0.03
内 イギリス	573,587,656	0.02
内 香港	356,685,458	0.01
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	47,464,801,475	1.96
純資産総額	2,425,022,418,388	100.00

その他資産の投資状況

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引（買建）	49,284,000,111	2.03
内 アメリカ	37,285,356,985	1.54
内 ドイツ	6,730,085,779	0.28
内 カナダ	2,472,158,035	0.10
内 イギリス	1,956,699,927	0.08
内 オーストラリア	839,699,385	0.03

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

（注3）先物取引の時価は、原則として計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

NASDAQ100インデックス・マザーファンド

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	545,393,548	92.77
内 アメリカ	521,344,024	88.68
内 アイルランド	8,827,428	1.50
内 オランダ	6,676,819	1.14
内 カナダ	5,010,280	0.85
内 ケイマン諸島	1,941,048	0.33
内 イギリス	1,593,949	0.27
投資信託受益証券	41,685,550	7.09
内 アメリカ	41,685,550	7.09
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	807,316	0.14
純資産総額	587,886,414	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

グローバル中小型株式クオリティグロースマザーファンド

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	4,804,768,585	99.46
内 アメリカ	3,032,603,326	62.77
内 カナダ	465,282,903	9.63
内 ドイツ	250,385,119	5.18
内 アイルランド	243,564,867	5.04
内 オーストラリア	239,202,052	4.95
内 イギリス	225,877,230	4.68
内 日本	207,902,900	4.30
内 イタリア	51,573,799	1.07
内 スペイン	47,727,141	0.99
内 ポーランド	40,649,248	0.84

コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	26,179,968	0.54
純資産総額	4,830,948,553	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

エマージング株式パッシブ・マザーファンド

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	167,973,951,094	94.73
内 台湾	35,197,583,293	19.85
内 ケイマン諸島	26,681,132,880	15.05
内 韓国	26,012,758,133	14.67
内 インド	22,495,715,614	12.69
内 中国	17,567,574,189	9.91
内 ブラジル	6,339,442,569	3.57
内 南アフリカ	5,769,473,217	3.25
内 サウジアラビア	4,821,237,699	2.72
内 メキシコ	2,567,776,417	1.45
内 アラブ首長国連邦	2,398,051,784	1.35
内 マレーシア	1,978,027,104	1.12
内 ポーランド	1,725,477,594	0.97
内 インドネシア	1,663,607,841	0.94
内 タイ	1,652,136,728	0.93
内 香港	1,457,505,167	0.82
内 カタール	1,048,726,390	0.59
内 クエート	1,026,359,908	0.58
内 チリ	998,738,608	0.56
内 ギリシャ	987,176,722	0.56
内 イギリス	835,099,216	0.47
内 トルコ	796,443,137	0.45
内 バミューダ	658,152,034	0.37
内 フィリピン	575,909,502	0.32
内 ハンガリー	567,447,089	0.32
内 アメリカ	565,946,879	0.32
内 スイス	339,481,574	0.19
内 コロンビア	285,869,569	0.16
内 チェコ	225,828,880	0.13
内 ルクセンブルグ	197,723,849	0.11
内 オランダ	180,591,816	0.10
内 エジプト	127,493,599	0.07
内 カナダ	110,028,912	0.06
内 ベルギー	90,027,424	0.05
内 シンガポール	29,405,757	0.02
内 ロシア	0	0.00
内 キプロス	0	0.00
内 イギリス領バージン諸島	0	0.00
投資信託受益証券	951,410,432	0.54
内 メキシコ	650,265,078	0.37
内 ブラジル	301,145,354	0.17
投資証券	150,147,336	0.08

内 メキシコ	150,147,336	0.08
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	8,252,366,780	4.65
純資産総額	177,327,875,642	100.00

その他資産の投資状況

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引(買建)	7,963,397,231	4.49
内 アメリカ	7,963,397,231	4.49

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

(注3) 先物取引の時価は、原則として計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
国債証券	399,794,479,450	87.37
内 日本	399,794,479,450	87.37
地方債証券	22,607,621,172	4.94
内 日本	22,607,621,172	4.94
特殊債券	18,495,604,132	4.04
内 日本	18,495,604,132	4.04
社債券	14,998,023,000	3.28
内 日本	14,703,804,000	3.21
内 フランス	294,219,000	0.06
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	1,717,657,402	0.38
純資産総額	457,613,385,156	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
国債証券	299,727,997,540	98.60
内 アメリカ	135,933,358,382	44.72
内 中国	34,783,847,322	11.44
内 フランス	21,908,838,691	7.21
内 イタリア	20,606,073,951	6.78
内 イギリス	18,080,619,720	5.95
内 ドイツ	17,255,428,572	5.68
内 スペイン	13,130,635,934	4.32
内 カナダ	6,321,939,581	2.08
内 ベルギー	4,584,763,011	1.51
内 オランダ	3,840,000,324	1.26
内 オーストラリア	3,829,921,835	1.26
内 オーストリア	3,260,083,975	1.07
内 メキシコ	2,726,921,323	0.90
内 ポーランド	2,203,852,033	0.72
内 ポルトガル	1,806,710,728	0.59
内 フィンランド	1,594,167,344	0.52

内 マレーシア	1,548,457,733	0.51
内 アイルランド	1,334,228,871	0.44
内 イスラエル	1,226,886,583	0.40
内 シンガポール	1,167,506,850	0.38
内 ニュージーランド	925,653,998	0.30
内 デンマーク	613,700,932	0.20
内 スウェーデン	527,346,987	0.17
内 ノルウェー	517,052,860	0.17
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	4,262,902,967	1.40
純資産総額	303,990,900,507	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
国債証券	263,308,670,930	97.83
内 アメリカ	119,173,711,502	44.28
内 中国	30,905,088,471	11.48
内 フランス	19,236,046,209	7.15
内 イタリア	18,034,983,449	6.70
内 イギリス	15,891,332,443	5.90
内 ドイツ	15,139,821,784	5.63
内 スペイン	11,521,953,424	4.28
内 カナダ	5,588,862,116	2.08
内 ベルギー	4,010,395,693	1.49
内 オーストラリア	3,387,151,883	1.26
内 オランダ	3,353,023,600	1.25
内 オーストリア	2,848,279,503	1.06
内 メキシコ	2,407,176,857	0.89
内 ポーランド	1,931,002,560	0.72
内 ポルトガル	1,583,405,855	0.59
内 フィンランド	1,392,978,907	0.52
内 マレーシア	1,362,929,354	0.51
内 アイルランド	1,137,351,565	0.42
内 イスラエル	1,085,646,556	0.40
内 シンガポール	1,012,698,055	0.38
内 ニュージーランド	828,589,612	0.31
内 デンマーク	535,008,365	0.20
内 ノルウェー	471,469,381	0.18
内 スウェーデン	469,763,786	0.17
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	5,833,841,285	2.17
純資産総額	269,142,512,215	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

J-REITインデックスファンド・マザーファンド

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
投資証券	201,353,529,700	97.20

	内 日本	201,353,529,700	97.20
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)		5,798,718,207	2.80
純資産総額		207,152,247,907	100.00

その他資産の投資状況

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
不動産投信指数先物取引(買建)	5,616,862,000	2.71
内 日本	5,616,862,000	2.71

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

(注3) 先物取引の時価は、原則として計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

One国内小型株オープン(FOFs用)(適格機関投資家限定)

2026年1月30日現在

資産の種類	時価合計(円)	投資比率(%)
親投資信託受益証券	1,415,393	99.20
内 日本	1,415,393	99.20
コール・ローン、その他の資産(負債控除後)	11,388	0.80
純資産総額	1,426,781	100.00

(注1) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

(注2) 資産の種類の内書は、当該資産の発行体又は上場金融商品取引所の国/地域別に表示しています。

(2) 【運用実績】

【純資産の推移】

マスターズ・マルチアセット・ファンド(安定型)

直近日(2026年1月末)、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 (分配落) (百万円)	純資産総額 (分配付) (百万円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1計算期間末 (2025年6月30日)	1,014	1,014	0.9263	0.9263
2025年1月末日	0.964924	-	0.9649	-
2月末日	0.944269	-	0.9443	-
3月末日	0.939404	-	0.9394	-
4月末日	0.927952	-	0.9280	-
5月末日	1,001	-	0.9146	-
6月末日	1,014	-	0.9263	-
7月末日	1,034	-	0.9444	-
8月末日	1,042	-	0.9517	-
9月末日	1,063	-	0.9706	-
10月末日	1,097	-	1.0020	-
11月末日	1,111	-	1.0151	-
12月末日	1,117	-	1.0201	-
2026年1月末日	1,128	-	1.0301	-

マスターズ・マルチアセット・ファンド(バランス型)

直近日(2026年1月末)、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 (分配落) (百万円)	純資産総額 (分配付) (百万円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1計算期間末 (2025年6月30日)	3,072	3,072	0.9724	0.9724
2025年1月末日	16	-	0.9909	-
2月末日	19	-	0.9638	-
3月末日	19	-	0.9583	-
4月末日	18	-	0.9384	-
5月末日	3,025	-	0.9575	-
6月末日	3,072	-	0.9724	-
7月末日	3,164	-	1.0007	-
8月末日	3,240	-	1.0131	-
9月末日	3,332	-	1.0406	-
10月末日	3,487	-	1.0845	-
11月末日	3,539	-	1.1007	-
12月末日	3,575	-	1.1088	-
2026年1月末日	3,636	-	1.1271	-

マスタース・マルチアセット・ファンド(積極型)

直近日(2026年1月末)、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額 (分配落) (百万円)	純資産総額 (分配付) (百万円)	1口当たりの 純資産額 (分配落)(円)	1口当たりの 純資産額 (分配付)(円)
第1計算期間末 (2025年6月30日)	1,065	1,065	0.9923	0.9923
2025年1月末日	16	-	1.0141	-
2月末日	16	-	0.9782	-
3月末日	16	-	0.9700	-
4月末日	15	-	0.9448	-
5月末日	1,043	-	0.9735	-
6月末日	1,065	-	0.9923	-
7月末日	1,100	-	1.0250	-
8月末日	1,117	-	1.0406	-
9月末日	1,150	-	1.0715	-
10月末日	1,211	-	1.1285	-
11月末日	1,234	-	1.1501	-
12月末日	1,246	-	1.1619	-
2026年1月末日	1,282	-	1.1932	-

【分配の推移】

マスタース・マルチアセット・ファンド(安定型)

	1口当たりの分配金(円)
第1計算期間	0.0000
2025年7月1日～2025年12月31日	-

マスタース・マルチアセット・ファンド(バランス型)

	1口当たりの分配金(円)
第1計算期間	0.0000
2025年7月1日～2025年12月31日	-

マスターズ・マルチアセット・ファンド（積極型）

	1口当たりの分配金（円）
第1計算期間	0.0000
2025年7月1日～2025年12月31日	-

【収益率の推移】

マスターズ・マルチアセット・ファンド（安定型）

	収益率（％）
第1計算期間	7.4
2025年7月1日～2025年12月31日	10.1

（注）収益率は期間騰落率です。

マスターズ・マルチアセット・ファンド（バランス型）

	収益率（％）
第1計算期間	2.8
2025年7月1日～2025年12月31日	14.0

（注）収益率は期間騰落率です。

マスターズ・マルチアセット・ファンド（積極型）

	収益率（％）
第1計算期間	0.8
2025年7月1日～2025年12月31日	17.1

（注）収益率は期間騰落率です。

2【設定及び解約の実績】

マスターズ・マルチアセット・ファンド（安定型）

	設定口数	解約口数
第1計算期間	1,095,451,133	0
2025年7月1日～ 2025年12月31日	0	0

（注1）本邦外における設定及び解約はありません。

（注2）第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

マスターズ・マルチアセット・ファンド（バランス型）

	設定口数	解約口数
第1計算期間	3,161,644,352	2,019,998
2025年7月1日～ 2025年12月31日	66,573,614	1,809,136

（注1）本邦外における設定及び解約はありません。

（注2）第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

マスターズ・マルチアセット・ファンド（積極型）

	設定口数	解約口数
第1計算期間	1,075,911,639	1,993,024
2025年7月1日～ 2025年12月31日	0	1,055,960

（注1）本邦外における設定及び解約はありません。

（注2）第1計算期間の設定口数には、当初設定口数を含みます。

3【ファンドの経理状況】

マスターズ・マルチアセット・ファンド(安定型)

マスターズ・マルチアセット・ファンド(バランス型)

マスターズ・マルチアセット・ファンド(積極型)

- (1) 当ファンドの中間財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第284条及び第307条の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。
なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2期中間計算期間(2025年7月1日から2025年12月31日まで)の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による中間監査を受けております。

中間財務諸表

【マスタース・マルチアセット・ファンド（安定型）】

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	第1期 2025年6月30日現在	第2期中間計算期間末 2025年12月31日現在
資産の部		
流動資産		
預金	7,713,755	48,768,660
コール・ローン	226,266,577	263,012,387
投資信託受益証券	158,824,605	119,165,152
親投資信託受益証券	623,148,578	694,186,098
未収利息	-	5,171
流動資産合計	1,015,953,515	1,125,137,468
資産合計	1,015,953,515	1,125,137,468
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	29,158	177,616
未払委託者報酬	1,236,091	7,521,112
その他未払費用	3,433	20,986
流動負債合計	1,268,682	7,719,714
負債合計	1,268,682	7,719,714
純資産の部		
元本等		
元本	1,095,451,133	1,095,451,133
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	80,766,300	21,966,621
（分配準備積立金）	13,684,833	13,684,833
元本等合計	1,014,684,833	1,117,417,754
純資産合計	1,014,684,833	1,117,417,754
負債純資産合計	1,015,953,515	1,125,137,468

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第1期中間計算期間 自 2024年7月22日 至 2025年1月21日	第2期中間計算期間 自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
営業収益		
受取配当金	1,607	1,060,670
受取利息	68	959,392
有価証券売買等損益	8,019	95,222,691
為替差損益	2,985	13,328,325
営業収益合計	3,359	110,571,078
営業費用		
受託者報酬	96	177,616
委託者報酬	6,732	7,521,112
その他費用	29,425	139,429
営業費用合計	36,253	7,838,157
営業利益又は営業損失()	39,612	102,732,921
経常利益又は経常損失()	39,612	102,732,921
中間純利益又は中間純損失()	39,612	102,732,921
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額()	-	-
期首剰余金又は期首欠損金()	-	80,766,300
剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金()	39,612	21,966,621

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第2期中間計算期間 自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。市場価格のない有価証券については、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>
3. その他中間財務諸表作成のための重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準 外貨建資産及び負債は、計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円貨に換算するほか、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び同第61条にしたがって換算しております。</p> <p>計算期間末日の取扱い 当ファンドは、原則として毎年6月28日を計算期間の末日としておりますが、該当日が休業日のため、前計算期間末日を2025年6月30日、当中間計算期間末日を2025年12月31日としております。</p>

(中間貸借対照表に関する注記)

項目	第1期 2025年6月30日現在	第2期中間計算期間末 2025年12月31日現在
1. 期首元本額	1,000,000円	1,095,451,133円
期中追加設定元本額	1,094,451,133円	- 円
期中一部解約元本額	- 円	- 円
2. 受益権の総数	1,095,451,133口	1,095,451,133口
3. 元本の欠損	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は80,766,300円であります。	-

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	第1期 2025年6月30日現在	第2期中間計算期間末 2025年12月31日現在

1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(デリバティブ取引等に関する注記)
 該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	第1期 2025年6月30日現在	第2期中間計算期間末 2025年12月31日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.9263円 (9,263円)	1.0201円 (10,201円)

(重要な後発事象に関する注記)

第2期中間計算期間 自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
委託会社は、当ファンドについて2026年2月2日付で株価指数先物取引、債券先物取引、オプション取引等のデリバティブ取引を主要投資対象に加え直接投資することを可能とするための手続を進めることを決定いたしました。 主要投資対象の変更に伴い、ファンド・オブ・ファンズ方式からファミリーファンド方式に変更するための手続を進めることといたします。

【マスターズ・マルチアセット・ファンド(バランス型)】

(1) 【中間貸借対照表】

(単位:円)

	第1期 2025年6月30日現在	第2期中間計算期間末 2025年12月31日現在
資産の部		
流動資産		
預金	47,589,437	405,818,351
金銭信託	-	2,000,000
コール・ローン	373,549,322	429,497,200
投資信託受益証券	971,982,078	615,643,818
親投資信託受益証券	1,683,165,551	2,148,238,654
未収利息	-	8,444
流動資産合計	3,076,286,388	3,601,206,467
資産合計	3,076,286,388	3,601,206,467
負債の部		
流動負債		
未払解約金	-	1,999,999
未払受託者報酬	89,920	555,966
未払委託者報酬	3,808,145	23,537,803
その他未払費用	10,626	65,880
流動負債合計	3,908,691	26,159,648
負債合計	3,908,691	26,159,648
純資産の部		
元本等		
元本	3,159,624,354	3,224,388,832
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金()	87,246,657	350,657,987
(分配準備積立金)	52,718,686	52,689,107
元本等合計	3,072,377,697	3,575,046,819
純資産合計	3,072,377,697	3,575,046,819
負債純資産合計	3,076,286,388	3,601,206,467

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位 : 円)

	第1期中間計算期間 自 2024年7月22日 至 2025年1月21日	第2期中間計算期間 自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
営業収益		
受取配当金	8,092	6,063,729
受取利息	3,627	3,673,030
有価証券売買等損益	146,019	374,520,718
為替差損益	254,696	75,943,238
営業収益合計	412,434	460,200,715
営業費用		
受託者報酬	1,396	555,966
委託者報酬	59,437	23,537,803
その他費用	40,591	231,712
営業費用合計	101,424	24,325,481
営業利益又は営業損失()	311,010	435,875,234
経常利益又は経常損失()	311,010	435,875,234
中間純利益又は中間純損失()	311,010	435,875,234
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額()	59,012	238,680
期首剰余金又は期首欠損金()	-	87,246,657
剰余金増加額又は欠損金減少額	79,010	2,268,090
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	79,010	47,817
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	2,220,273
剰余金減少額又は欠損金増加額	583,771	-
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	583,771	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金()	252,763	350,657,987

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第2期中間計算期間 自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。市場価格のない有価証券については、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>
3. その他中間財務諸表作成のための重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準 外貨建資産及び負債は、計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円貨に換算するほか、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び同第61条にしたがって換算しております。</p> <p>計算期間末日の取扱い 当ファンドは、原則として毎年6月28日を計算期間の末日としておりますが、該当日が休業日のため、前計算期間末日を2025年6月30日、当中間計算期間末日を2025年12月31日としております。</p>

(中間貸借対照表に関する注記)

項目	第1期 2025年6月30日現在	第2期中間計算期間末 2025年12月31日現在
1. 期首元本額	1,000,000円	3,159,624,354円
期中追加設定元本額	3,160,644,352円	66,573,614円
期中一部解約元本額	2,019,998円	1,809,136円
2. 受益権の総数	3,159,624,354口	3,224,388,832口
3. 元本の欠損	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は87,246,657円であります。	-

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	第1期 2025年6月30日現在	第2期中間計算期間末 2025年12月31日現在

1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(デリバティブ取引等に関する注記)
 該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	第1期 2025年6月30日現在	第2期中間計算期間末 2025年12月31日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.9724円 (9,724円)	1.1088円 (11,088円)

(重要な後発事象に関する注記)

第2期中間計算期間 自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
委託会社は、当ファンドについて2026年2月2日付で株価指数先物取引、債券先物取引、オプション取引等のデリバティブ取引を主要投資対象に加え直接投資することを可能とするための手続を進めることを決定いたしました。主要投資対象の変更に伴い、ファンド・オブ・ファンズ方式からファミリーファンド方式に変更するための手続を進めることといたします。

【マスターズ・マルチアセット・ファンド(積極型)】

(1) 【中間貸借対照表】

(単位:円)

	第1期 2025年6月30日現在	第2期中間計算期間末 2025年12月31日現在
資産の部		
流動資産		
預金	13,841,002	80,825,269
コール・ローン	72,240,830	46,644,013
投資信託受益証券	269,467,645	239,004,838
親投資信託受益証券	711,480,137	888,384,277
未収利息	-	917
流動資産合計	1,067,029,614	1,254,859,314
資産合計	1,067,029,614	1,254,859,314
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	32,748	192,744
未払委託者報酬	1,387,765	8,161,808
その他未払費用	3,792	22,785
流動負債合計	1,424,305	8,377,337
負債合計	1,424,305	8,377,337
純資産の部		
元本等		
元本	1,073,918,615	1,072,862,655
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金()	8,313,306	173,619,322
(分配準備積立金)	22,738,543	22,716,183
元本等合計	1,065,605,309	1,246,481,977
純資産合計	1,065,605,309	1,246,481,977
負債純資産合計	1,067,029,614	1,254,859,314

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

	第1期中間計算期間 自 2024年7月22日 至 2025年1月21日	第2期中間計算期間 自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
営業収益		
受取配当金	12,363	1,553,010
受取利息	1,593	922,659
有価証券売買等損益	228,264	162,550,366
為替差損益	146,891	25,478,089
営業収益合計	389,111	190,504,124
営業費用		
受託者報酬	1,030	192,744
委託者報酬	45,402	8,161,808
その他費用	38,792	122,908
営業費用合計	85,224	8,477,460
営業利益又は営業損失()	303,887	182,026,664
経常利益又は経常損失()	303,887	182,026,664
中間純利益又は中間純損失()	303,887	182,026,664
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額()	37,670	102,209
期首剰余金又は期首欠損金()	-	8,313,306
剰余金増加額又は欠損金減少額	59,793	8,173
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	59,793	8,173
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	321,665	-
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	321,665	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金()	4,345	173,619,322

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第2期中間計算期間 自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。市場価格のない有価証券については、投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p> <p>親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。</p>
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>
3. その他中間財務諸表作成のための重要な事項	<p>外貨建取引等の処理基準 外貨建資産及び負債は、計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円貨に換算するほか、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び同第61条にしたがって換算しております。</p> <p>計算期間末日の取扱い 当ファンドは、原則として毎年6月28日を計算期間の末日としておりますが、該当日が休業日のため、前計算期間末日を2025年6月30日、当中間計算期間末日を2025年12月31日としております。</p>

(中間貸借対照表に関する注記)

項目	第1期 2025年6月30日現在	第2期中間計算期間末 2025年12月31日現在
1. 期首元本額	1,000,000円	1,073,918,615円
期中追加設定元本額	1,074,911,639円	- 円
期中一部解約元本額	1,993,024円	1,055,960円
2. 受益権の総数	1,073,918,615口	1,072,862,655口
3. 元本の欠損	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は8,313,306円であり、	-

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	第1期 2025年6月30日現在	第2期中間計算期間末 2025年12月31日現在

1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	第1期 2025年6月30日現在	第2期中間計算期間末 2025年12月31日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.9923円 (9,923円)	1.1618円 (11,618円)

(重要な後発事象に関する注記)

第2期中間計算期間 自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
委託会社は、当ファンドについて2026年2月2日付で株価指数先物取引、債券先物取引、オプション取引等のデリバティブ取引を主要投資対象に加え直接投資することを可能とするための手続を進めることを決定いたしました。主要投資対象の変更に伴い、ファンド・オブ・ファンズ方式からファミリーファンド方式に変更するための手続を進めることといたします。

(参考)

「マスタース・マルチアセット・ファンド(安定型)」、「マスタース・マルチアセット・ファンド(バランス型)」、「マスタース・マルチアセット・ファンド(積極型)」は、「One国内小型株オープン(FOFs用)(適格機関投資家限定)」投資信託証券、「国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド」受益証券、「外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド」受益証券、「NASDAQ100インデックス・マザーファンド」受益証券、「グローバル中小型株式クオリティグロースマザーファンド」受益証券、「国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド」受益証券、「外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド」受益証券、「為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド」受益証券及び「J-REITインデックスファンド・マザーファンド」受益証券に投資しており、これらの証券は中間貸借対照表の資産の部、「投資信託受益証券」及び「親投資信託受益証券」に計上されております。

同投資信託の状況は以下の通りであります。

なお、以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

2025年12月31日現在

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	9,833,424,320
株式	757,326,255,620
派生商品評価勘定	73,376,510
未収入金	1,534,163,119
未収配当金	1,005,977,102
未収利息	193,338
差入委託証拠金	645,324,921
流動資産合計	770,418,714,930
資産合計	
770,418,714,930	
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	17,012,620
前受金	105,395,000
未払解約金	508,384,000
流動負債合計	630,791,620
負債合計	
630,791,620	
純資産の部	
元本等	
元本	123,382,863,541
剰余金	
剰余金又は欠損金()	646,405,059,769
元本等合計	769,787,923,310
純資産合計	
769,787,923,310	
負債純資産合計	
770,418,714,930	

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場によっております。
3. 収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	2025年12月31日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	126,989,310,154円
同期中追加設定元本額	8,084,823,809円
同期中一部解約元本額	11,691,270,422円
元本の内訳	
ファンド名	
MHAMスリーウェイオープン	234,935,632円
MHAM TOPIXオープン	2,207,434,942円
たわらノーロード 国内株式<ラップ専用>	3,606,443,235円
One DC 国内株式インデックスファンド	37,821,387,635円
DIAM国内株式パッシブ・ファンド	4,761,183,505円
たわらノーロード TOPIX	4,383,553,939円
たわらノーロード バランス(8資産均等型)	2,307,293,393円
たわらノーロード バランス(堅実型)	43,739,429円
たわらノーロード バランス(標準型)	409,971,689円
たわらノーロード バランス(積極型)	859,443,636円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(保守型)	2,999,401円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定型)	155,245,893円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定成長型)	497,163,412円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(成長型)	451,345,458円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(積極型)	658,585,946円
たわらノーロード 最適化バランス(保守型)	460,427円
たわらノーロード 最適化バランス(安定型)	2,027,698円
たわらノーロード 最適化バランス(安定成長型)	36,861,556円
たわらノーロード 最適化バランス(成長型)	14,209,001円
たわらノーロード 最適化バランス(積極型)	23,626,592円
マスターズ・マルチアセット・ファンド(安定型)	21,644,184円
マスターズ・マルチアセット・ファンド(バランス型)	124,454,151円
マスターズ・マルチアセット・ファンド(積極型)	69,630,788円
DIAM国内株式インデックスファンド<DC年金>	30,996,933,551円
Oneグローバルバランス	117,164,561円

未来のわたし(ターゲット・イヤー/～1972年生まれ向け)	328,215円
未来のわたし(ターゲット・イヤー/1973～1977年生まれ向け)	246,331円
未来のわたし(ターゲット・イヤー/1978～1982年生まれ向け)	156,420円
未来のわたし(ターゲット・イヤー/1983～1987年生まれ向け)	177,801円
未来のわたし(ターゲット・イヤー/1988～1992年生まれ向け)	193,787円
未来のわたし(ターゲット・イヤー/1993～1997年生まれ向け)	201,305円
未来のわたし(ターゲット・イヤー/1998～2002年生まれ向け)	201,358円
未来のわたし(ターゲット・イヤー/2003～2007年生まれ向け)	284,699円
DIAMバランス・ファンド<DC年金>1安定型	785,855,740円
DIAMバランス・ファンド<DC年金>2安定・成長型	3,020,508,843円
DIAMバランス・ファンド<DC年金>3成長型	3,831,505,055円
DIAM DC バランス30インデックスファンド	206,635,531円
DIAM DC バランス50インデックスファンド	769,249,122円
DIAM DC バランス70インデックスファンド	971,166,072円
マネックス資産設計ファンド<隔月分配型>	23,569,453円
マネックス資産設計ファンド<育成型>	1,001,600,110円
マネックス資産設計ファンド エボリューション	12,770,585円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国10)	218,549,636円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国20)	311,873,484円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国30)	568,170,252円
投資のソムリエ	3,596,149,804円
クルーズコントロール	262,354,575円
投資のソムリエ<DC年金>	680,005,432円
DIAM 8資産バランスファンドN<DC年金>	317,121,496円
4資産分散投資・ハイクラス<DC年金>	1,462,908,453円
投資のソムリエ<DC年金>リスク抑制型	386,476,080円
リスク抑制世界8資産バランスファンド	714,190,935円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2045)	120,341,722円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2055)	65,842,032円
リスク抑制世界8資産バランスファンド(DC)	4,518,808円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2035)	206,700,131円
4資産分散投資・スタンダード<DC年金>	657,728,464円
リスクコントロール世界資産分散ファンド	254,265,491円
9資産分散投資・スタンダード<DC年金>	185,357,282円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)	111,874,347円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)	71,291,509円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)	42,330,443円
4資産分散投資・ミドルクラス<DC年金>	853,015,197円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2065)	16,054,713円
Oneグローバル最適化バランス(安定型)<ラップ向け>	1,013,188円
Oneグローバル最適化バランス(成長型)<ラップ向け>	25,076,876円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2070)	391,937円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2019-12(適格機関投資家限定)	1,813,526円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-06(適格機関投資家限定)	1,787,986円

マルチアセット・インカム戦略ファンド20-08(適格機関投資家限定)	7,643,994円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-09(適格機関投資家限定)	1,010,050円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-03(適格機関投資家限定)	4,535,544円
インカム重視マルチアセット運用ファンド 2021-04(適格機関投資家限定)	4,462,731円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)2021-05(適格機関投資家限定)	20,168,849円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(内外株式債券型・シグナルヘッジ付き)2021-06(適格機関投資家限定)	85,467,159円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)2021-07(適格機関投資家限定)	60,139,583円
日本株40・外債60配分戦略ファンド2021-07(適格機関投資家限定)	257,883,466円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)2021-08(適格機関投資家限定)	41,992,072円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-09(適格機関投資家限定)	1,167,085円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)2021-09(適格機関投資家限定)	41,979,580円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(シグナルヘッジ付き)2021-12(適格機関投資家限定)	60,486,999円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(内外株式債券型・シグナルヘッジ付き)2022-05(適格機関投資家限定)	104,007,229円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(日米資産投資・シグナルヘッジ付き)2022-10(適格機関投資家限定)	315,453,477円
予兆モデル活用型戦略ファンド2024-01(適格機関投資家限定)	2,832,458円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(日米資産投資・シグナルヘッジ付き)2024-05(適格機関投資家限定)	309,894,800円
AMOne TOPIXインデックスファンド2025-01(適格機関投資家限定)	2,885,886,310円
投資のソムリエ・私募(適格機関投資家限定)	46,459,071円
DIAMワールドバランス25VA(適格機関投資家限定)	13,636,934円
日米資産配分戦略ファンド(インカム重視型)(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)	36,320,282円
インカム重視マルチアセット運用ファンド(適格機関投資家限定)	1,867,688円
リスクコントロール世界8資産バランスファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	2,463,002円
DIAMグローバル・バランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	14,851,463円
DIAMグローバル・バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	47,832,844円
DIAM国際分散バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	1,691,232円
DIAM国際分散バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	7,158,498円
DIAM国内重視バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	2,172,501円
DIAM国内重視バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	67,622円
DIAM世界バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	36,091円
DIAM世界バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	228,609円
DIAMバランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	132,048,737円
DIAMバランスファンド37.5VA(適格機関投資家限定)	264,391,122円
DIAMバランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	860,504,271円

D I A Mグローバル・アセット・バランスV A (適格機関投資家限定)	5,980,829円
D I A Mグローバル・アセット・バランスV A 2 (適格機関投資家限定)	9,405,074円
D I A M アクサ グローバル バランスファンド30V A (適格機関投資家限定)	66,107,586円
D I A M世界アセットバランスファンドV A (適格機関投資家向け)	14,043,888円
D I A M世界バランスファンド55V A (適格機関投資家限定)	42,416円
D I A M世界アセットバランスファンド2V A (適格機関投資家限定)	68,619,352円
D I A M世界アセットバランスファンド40V A (適格機関投資家限定)	5,179,368円
D I A M世界アセットバランスファンド25V A (適格機関投資家限定)	13,632,994円
D I A M世界アセットバランスファンド3V A (適格機関投資家限定)	32,052,239円
D I A M世界アセットバランスファンド4V A (適格機関投資家限定)	39,457,626円
D I A M世界バランス25V A (適格機関投資家限定)	9,907,268円
D I A M国内バランス30V A (適格機関投資家限定)	3,891,815円
動的パッケージファンド<DC年金>	22,405,517円
コア資産形成ファンド	8,317,025円
MHAMトピックスファンド	703,756,946円
MHAM T O P I XファンドV A (適格機関投資家専用)	23,683,112円
MHAM動的パッケージファンド[適格機関投資家限定]	2,157,244,321円
MHAM日本株式パッシブファンド[適格機関投資家限定]	2,992,800,932円
計	123,382,863,541円
2. 受益権の総数	123,382,863,541口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	2025年12月31日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」にて記載しております。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等による場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)

株式関連

種類	2025年12月31日現在			
	契約額等(円)	うち	時価(円)	評価損益(円)
		1年超		
市場取引 先物取引 買建	12,471,060,000	-	12,527,545,000	56,485,000
合計	12,471,060,000	-	12,527,545,000	56,485,000

(注) 時価の算定方法

株価指数先物取引

1. 原則として計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

2. 先物取引の残高表示は、契約額によっております。

3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	2025年12月31日現在
1口当たり純資産額	6.2390円
(1万口当たり純資産額)	(62,390円)

外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

2025年12月31日現在

資産の部	
流動資産	
預金	34,194,670,939
コール・ローン	105,084,084
株式	2,306,172,044,292
投資信託受益証券	2,868,375,230
投資証券	32,917,184,656
派生商品評価勘定	470,768,170
未収入金	11,021,927
未収配当金	1,432,980,464
未収利息	2,066
差入委託証拠金	15,857,247,240
流動資産合計	2,394,029,379,068
資産合計	2,394,029,379,068
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	10,920,631
未払解約金	937,000
流動負債合計	11,857,631
負債合計	11,857,631
純資産の部	
元本等	
元本	194,966,729,334
剰余金	
剰余金又は欠損金()	2,199,050,792,103
元本等合計	2,394,017,521,437
純資産合計	2,394,017,521,437
負債純資産合計	2,394,029,379,068

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>新株予約権証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>投資信託受益証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>投資証券</p> <p>移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場によっております。</p> <p>為替予約取引</p> <p>原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金</p> <p>原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>
4. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建資産及び負債は、計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円貨に換算するほか、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び同第61条にしたがって換算しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

項目	2025年12月31日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	188,792,775,387円
同期中追加設定元本額	14,030,302,064円
同期中一部解約元本額	7,856,348,117円

元本の内訳

ファンド名

インデックスオープン・世界株式	29,989,159円
インデックスオープン・先進国株式	41,525,200円
D I A M外国株式パッシブ・ファンド	3,826,946,944円
たわらノーロード 先進国株式	87,697,584,348円
たわらノーロード 先進国株式<為替ヘッジあり>	2,892,239,138円
たわらノーロード バランス(8資産均等型)	1,174,294,158円
たわらノーロード バランス(堅実型)	68,066,169円
たわらノーロード バランス(標準型)	818,236,755円
たわらノーロード バランス(積極型)	1,359,554,493円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(保守型)	1,335円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定型)	55,989,707円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定成長型)	348,950,265円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(成長型)	437,703,833円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(積極型)	696,804,128円
たわらノーロード 最適化バランス(保守型)	1,447円
たわらノーロード 最適化バランス(安定型)	610,288円
たわらノーロード 最適化バランス(安定成長型)	19,576,397円
たわらノーロード 最適化バランス(成長型)	10,304,501円
たわらノーロード 最適化バランス(積極型)	21,804,982円
たわらノーロード 全世界株式	14,720,994,650円
マスターズ・マルチアセット・ファンド(安定型)	12,351,088円
マスターズ・マルチアセット・ファンド(バランス型)	52,531,250円
マスターズ・マルチアセット・ファンド(積極型)	22,390,357円
D I A M外国株式インデックスファンド<DC年金>	57,955,871,099円
One DC 先進国株式インデックスファンド	4,237,740,577円
Oneグローバルバランス	60,105,446円
D I A Mバランス・ファンド<DC年金>1安定型	114,688,435円
D I A Mバランス・ファンド<DC年金>2安定・成長型	652,177,100円
D I A Mバランス・ファンド<DC年金>3成長型	946,421,010円
D I A M DC バランス30インデックスファンド	53,097,291円
D I A M DC バランス50インデックスファンド	176,052,689円
D I A M DC バランス70インデックスファンド	198,479,262円
マネックス資産設計ファンド<隔月分配型>	13,031,831円
マネックス資産設計ファンド<育成型>	556,947,871円
マネックス資産設計ファンド エボリューション	105,843,573円
D I A M DC 8資産バランスファンド(新興国10)	111,917,247円
D I A M DC 8資産バランスファンド(新興国20)	159,867,857円
D I A M DC 8資産バランスファンド(新興国30)	290,645,757円
投資のソムリエ	2,716,216,377円
クルーズコントロール	52,151,163円
投資のソムリエ<DC年金>	512,075,071円
D I A M 8資産バランスファンドN<DC年金>	162,442,799円
4資産分散投資・ハイクラス<DC年金>	357,499,533円
投資のソムリエ<DC年金>リスク抑制型	257,318,087円
リスク抑制世界8資産バランスファンド	492,202,055円
ワールドアセットバランス(基本コース)	67,686,727円
ワールドアセットバランス(リスク抑制コース)	175,566,470円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2045)	79,318,327円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2055)	43,034,020円
リスク抑制世界8資産バランスファンド(DC)	3,085,824円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2035)	157,280,159円

4資産分散投資・スタンダード<DC年金> リスクコントロール世界資産分散ファンド	170,742,645円 174,685,723円
9資産分散投資・スタンダード<DC年金> 投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)	94,699,858円 77,423,248円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)	46,664,076円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)	27,718,400円
4資産分散投資・ミドルクラス<DC年金> 投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2065)	218,221,308円 10,654,852円
Oneグローバル最適化バランス(成長型)<ラップ向け> 投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2070)	23,295,095円 257,559円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2019-12(適格機関投資家限定)	11,547,136円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-06(適格機関投資家限定)	11,573,091円
マルチアセット・インカム戦略ファンド20-08(適格機関投資家限定)	4,088,436円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-09(適格機関投資家限定)	6,966,276円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-03(適格機関投資家限定)	3,891,674円
インカム重視マルチアセット運用ファンド 2021-04(適格機関投資家限定)	29,252,534円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(内外株式債券型・シグナルヘッジ付き)2021-06(適格機関投資家限定)	10,158,638円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-09(適格機関投資家限定)	7,779,750円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(内外株式債券型・シグナルヘッジ付き)2022-05(適格機関投資家限定)	11,983,294円
予兆モデル活用型戦略ファンド2024-01(適格機関投資家限定)	18,870,809円
MSCIコクサイ・インデックスファンド<為替ヘッジあり>(適格機関投資家限定)	211,065,098円
DIAM外国株式インデックスファンドVA(適格機関投資家専用)	12,877,918円
DIAM外国株式パッシブ私募ファンド(適格機関投資家向け)	880,982,727円
外国株式パッシブ・ファンド2(適格機関投資家限定)	892,167,902円
投資のソムリエ・私募(適格機関投資家限定)	35,074,938円
DIAMワールドバランス25VA(適格機関投資家限定)	2,992,975円
インカム重視マルチアセット運用ファンド(適格機関投資家限定)	12,236,871円
リスクコントロール世界8資産バランスファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	1,850,832円
DIAMグローバル・バランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	7,607,275円
DIAMグローバル・バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	24,533,782円
DIAM国際分散バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	869,922円
DIAM国際分散バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	5,479,275円
DIAM国内重視バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	557,289円
DIAM国内重視バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	23,002円
DIAM世界バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	18,344円
DIAM世界バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	174,822円
DIAMバランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	44,966,427円
DIAMバランスファンド37.5VA(適格機関投資家限定)	117,748,743円
DIAMバランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	438,871,066円
DIAMグローバル・アセット・バランスVA(適格機関投資家限定)	15,417,373円

D I A Mグローバル・アセット・バランスV A 2 (適格機関投資家限定)	14,554,692円
D I A M アクサ グローバル バランスファンド3 0 V A (適格機関投資家限定)	67,269,205円
D I A M世界アセットバランスファンドV A (適格機関投資家向け)	2,381,795円
D I A M世界バランスファンド5 5 V A (適格機関投資家限定)	98,184円
D I A M世界アセットバランスファンド2 V A (適格機関投資家限定)	23,488,913円
D I A M世界アセットバランスファンド4 0 V A (適格機関投資家限定)	2,655,696円
D I A M世界アセットバランスファンド2 5 V A (適格機関投資家限定)	6,996,389円
D I A M世界アセットバランスファンド3 V A (適格機関投資家限定)	10,950,877円
D I A M世界アセットバランスファンド4 V A (適格機関投資家限定)	20,234,774円
動的パッケージファンド< D C年金>	10,983,300円
コア資産形成ファンド	4,098,042円
たわらノーロード 先進国株式(為替ヘッジなし)<ラップ専用>	2,725,578,940円
M H A M外国株式インデックスファンド	123,546,552円
たわらノーロード 先進国株式(為替ヘッジあり)<ラップ専用>	651,090,401円
M H A M動的パッケージファンド[適格機関投資家限定]	1,061,315,669円
M H A M外国株式パッシブファンド[適格機関投資家限定]	1,558,280,673円
計	194,966,729,334円
2. 受益権の総数	194,966,729,334口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	2025年12月31日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」にて記載しております。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短時間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)

通貨関連

種類	2025年12月31日現在			
	契約額等(円)	時価(円)		評価損益(円)
		うち 1年超		
市場取引以外の取引				

為替予約取引				
買建	10,527,273,154	-	10,534,064,760	6,791,606
アメリカ・ドル	8,124,404,657	-	8,129,694,490	5,289,833
イギリス・ポンド	410,022,033	-	410,303,818	281,785
オーストラリア・ドル	178,999,893	-	179,123,013	123,120
カナダ・ドル	395,208,129	-	395,431,363	223,234
ユーロ	1,418,638,442	-	1,419,512,076	873,634
合計	10,527,273,154	-	10,534,064,760	6,791,606

(注) 時価の算定方法

為替予約取引

1. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算しております。

・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

2. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

3. 換算において円未満の端数は切捨てております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

株式関連

種類	2025年12月31日現在			
	契約額等(円)	時価(円)		評価損益(円)
		うち 1年超		
市場取引 先物取引 買建	61,761,981,066	-	62,215,036,999	453,055,933
合計	61,761,981,066	-	62,215,036,999	453,055,933

(注) 時価の算定方法

株価指数先物取引

1. 原則として計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

2. 先物取引の残高表示は、契約額によっております。

3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

(1口当たり情報に関する注記)

2025年12月31日現在	
1口当たり純資産額	12.2791円
(1万口当たり純資産額)	(122,791円)

NASDAQ100インデックス・マザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

2025年12月31日現在

資産の部	
流動資産	
預金	5,079,037
コール・ローン	322,955
株式	576,627,851
投資信託受益証券	47,240,856
未収配当金	229,229
未収利息	6
流動資産合計	629,499,934
資産合計	629,499,934
負債の部	
流動負債	
未払金	4,688,880
流動負債合計	4,688,880
負債合計	4,688,880
純資産の部	
元本等	
元本	375,217,906
剰余金	
剰余金又は欠損金()	249,593,148
元本等合計	624,811,054
純資産合計	624,811,054
負債純資産合計	629,499,934

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

項目	自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p> <p>投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。</p>
2. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建取引等の処理基準 外貨建資産及び負債は、計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円貨に換算するほか、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び同第61条にしたがって換算しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

項目	2025年12月31日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	382,536,114円
同期中追加設定元本額	111,612,789円
同期中一部解約元本額	118,930,997円
元本の内訳	
ファンド名	
たわらノーロード NASDAQ100	375,215,398円
マスターズ・マルチアセット・ファンド（積極型）	2,508円
計	375,217,906円
2. 受益権の総数	375,217,906口

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	2025年12月31日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。

2. 時価の算定方法	<p>(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 該当事項はありません。</p> <p>(3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	2025年12月31日現在
1口当たり純資産額	1.6652円
(1万口当たり純資産額)	(16,652円)

グローバル中小型株式クオリティグロースマザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

2025年12月31日現在

資産の部	
流動資産	
預金	38,664,485
コール・ローン	5,933,969
株式	4,835,759,794
未収配当金	1,330,870
未収利息	116
流動資産合計	4,881,689,234
資産合計	4,881,689,234
負債の部	
流動負債	
流動負債合計	-
負債合計	-
純資産の部	
元本等	
元本	1,868,700,724
剰余金	
剰余金又は欠損金()	3,012,988,510
元本等合計	4,881,689,234
純資産合計	4,881,689,234
負債純資産合計	4,881,689,234

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. 収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建資産及び負債は、計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円貨に換算するほか、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び同第61条にしたがって換算しております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	2025年12月31日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	1,945,012,088円
同期中追加設定元本額	74,237,089円
同期中一部解約元本額	150,548,453円
元本の内訳	
ファンド名	
マスターズ・マルチアセット・ファンド（安定型）	1,555円
マスターズ・マルチアセット・ファンド（バランス型）	55,223円
マスターズ・マルチアセット・ファンド（積極型）	95,964円
Oneグローバル中小型長期成長株ファンド<DC年金>	1,159,388,659円
Oneグローバル中小型長期成長株ファンド	459,495,826円
グローバル中小型株式クオリティグロースファンド（為替ヘッジあり） （適格機関投資家限定）	249,663,497円
計	1,868,700,724円
2. 受益権の総数	1,868,700,724口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	2025年12月31日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。

2. 時価の算定方法	<p>(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 該当事項はありません。</p> <p>(3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	2025年12月31日現在
1口当たり純資産額	2.6123円
(1万口当たり純資産額)	(26,123円)

国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

2025年12月31日現在

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	2,734,897,479
国債証券	409,585,452,750
地方債証券	22,020,087,350
特殊債券	18,358,006,016
社債券	14,909,896,000
未収入金	1,241,563,000
未収利息	800,594,328
前払費用	54,996,293
流動資産合計	469,705,493,216
資産合計	469,705,493,216
負債の部	
流動負債	
未払金	3,923,174,000
未払解約金	22,447,000
流動負債合計	3,945,621,000
負債合計	3,945,621,000
純資産の部	
元本等	
元本	410,724,891,735
剰余金	
剰余金又は欠損金()	55,034,980,481
元本等合計	465,759,872,216
純資産合計	465,759,872,216
負債純資産合計	469,705,493,216

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券、地方債証券、特殊債券及び社債券 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	2025年12月31日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	403,635,565,026円
同期中追加設定元本額	65,102,592,703円
同期中一部解約元本額	58,013,265,994円
元本の内訳	
ファンド名	
D I A M国内債券パッシブ・ファンド	34,806,803,699円
たわらノーロード 国内債券	21,837,996,515円
たわらノーロード バランス（8資産均等型）	11,913,217,341円
たわらノーロード バランス（堅実型）	2,121,041,343円
たわらノーロード バランス（標準型）	5,295,441,141円
たわらノーロード バランス（積極型）	912,914,034円
たわらノーロード スマートグローバルバランス（保守型）	212,767,899円
たわらノーロード スマートグローバルバランス（安定型）	3,010,840,948円
たわらノーロード スマートグローバルバランス（安定成長型）	3,832,758,650円
たわらノーロード スマートグローバルバランス（成長型）	975,427,952円
たわらノーロード スマートグローバルバランス（積極型）	243,747円
たわらノーロード 最適化バランス（保守型）	67,140,238円
たわらノーロード 最適化バランス（安定型）	30,129,300円
たわらノーロード 最適化バランス（安定成長型）	274,063,270円
たわらノーロード 最適化バランス（成長型）	26,986,637円
たわらノーロード 最適化バランス（積極型）	62,284円
マスターズ・マルチアセット・ファンド（安定型）	17,119,374円
マスターズ・マルチアセット・ファンド（バランス型）	25,806,163円
D I A M国内債券インデックスファンド< D C年金>	12,112,750,891円
O n eグローバルバランス	431,976,837円
未来のわたし（ターゲット・イヤーノ～1972年生まれ向け）	2,477,988円
未来のわたし（ターゲット・イヤーノ1973～1977年生まれ向け）	1,214,336円
未来のわたし（ターゲット・イヤーノ1978～1982年生まれ向け）	434,969円
未来のわたし（ターゲット・イヤーノ1983～1987年生まれ向け）	209,954円
D I A Mバランス・ファンド< D C年金> 1安定型	13,904,560,635円
D I A Mバランス・ファンド< D C年金> 2安定・成長型	21,276,132,208円
D I A Mバランス・ファンド< D C年金> 3成長型	10,510,405,169円
D I A M D C バランス30インデックスファンド	2,879,119,413円
D I A M D C バランス50インデックスファンド	3,141,078,754円
D I A M D C バランス70インデックスファンド	720,760,739円
マネックス資産設計ファンド<隔月分配型>	83,548,503円

マネックス資産設計ファンド<育成型>	3,592,133,517円
マネックス資産設計ファンド エボリューション	6,475,193円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国10)	6,435,683,927円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国20)	3,254,935,607円
DIAM DC 8資産バランスファンド(新興国30)	751,632,547円
投資のソムリエ	35,475,543,972円
クルーズコントロール	779,304,142円
投資のソムリエ<DC年金>	6,664,997,291円
DIAM 8資産バランスファンドN<DC年金>	9,404,494,348円
4資産分散投資・ハイクラス<DC年金>	4,380,507,926円
投資のソムリエ<DC年金>リスク抑制型	12,443,869,193円
リスク抑制世界8資産バランスファンド	23,543,854,710円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2045)	575,416,664円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2055)	314,101,976円
リスク抑制世界8資産バランスファンド(DC)	147,179,389円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2035)	2,030,448,319円
4資産分散投資・スタンダード<DC年金>	9,052,569,804円
リスクコントロール世界資産分散ファンド	8,143,843,474円
9資産分散投資・スタンダード<DC年金>	7,592,493,808円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)	769,031,978円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)	340,574,826円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)	203,925,484円
4資産分散投資・ミドルクラス<DC年金>	5,741,117,651円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2065)	77,168,755円
Oneグローバル最適化バランス(安定型)<ラップ向け>	153,690,211円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2070)	1,886,728円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2019-12(適格機関投資家限定)	1,045,276,065円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-06(適格機関投資家限定)	1,050,113,659円
マルチアセット・インカム戦略ファンド20-08(適格機関投資家限定)	786,143,731円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-09(適格機関投資家限定)	627,344,579円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-03(適格機関投資家限定)	960,940,861円
インカム重視マルチアセット運用ファンド 2021-04(適格機関投資家限定)	2,649,126,027円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(内外株式債券型・シグナルヘッジ付き)2021-06(適格機関投資家限定)	2,133,813,578円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-09(適格機関投資家限定)	703,764,359円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(内外株式債券型・シグナルヘッジ付き)2022-05(適格機関投資家限定)	1,939,368,564円
予兆モデル活用型戦略ファンド2024-01(適格機関投資家限定)	1,717,466,306円
DIAM国内債券パッシブファンド(適格機関投資家向け)	7,318,249,187円
Oneコアポートフォリオ戦略ファンド(適格機関投資家限定)	1,114,060,079円
投資のソムリエ・私募(適格機関投資家限定)	446,221,850円
DIAMワールドバランス25VA(適格機関投資家限定)	242,909,125円
インカム重視マルチアセット運用ファンド(適格機関投資家限定)	1,112,288,134円
リスクコントロール世界8資産バランスファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	23,543,876円

AM O n e コアポートフォリオ・プラス戦略ファンド(適格機関投資家限定)	446,191,495円
DIAMグローバル・バランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	95,778,799円
DIAMグローバル・バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	102,714,757円
DIAM国際分散バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	21,433,163円
DIAM国際分散バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	58,012,603円
DIAM国内重視バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	29,498,536円
DIAM国内重視バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	486,107円
DIAM世界バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	290,927円
DIAM世界バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	1,851,356円
DIAMバランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	1,905,766,121円
DIAMバランスファンド37.5VA(適格機関投資家限定)	2,140,578,806円
DIAMバランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	4,639,488,645円
DIAMグローバル・アセット・バランスVA(適格機関投資家限定)	48,530,883円
DIAMグローバル・アセット・バランスVA2(適格機関投資家限定)	126,456,173円
DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	1,082,774,882円
DIAM世界アセットバランスファンドVA(適格機関投資家向け)	77,524,030円
DIAM世界バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)	681,108円
DIAM世界アセットバランスファンド2VA(適格機関投資家限定)	991,326,017円
DIAM世界アセットバランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	27,851,261円
DIAM世界アセットバランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	147,165,476円
DIAM世界アセットバランスファンド3VA(適格機関投資家限定)	229,820,212円
DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)	354,328,126円
DIAM世界バランス25VA(適格機関投資家限定)	178,216,318円
DIAM国内バランス30VA(適格機関投資家限定)	49,932,614円
コアサテライト戦略ファンド(適格機関投資家限定)	456,244,779円
動的パッケージファンド<DC年金>	413,929,707円
コア資産形成ファンド	149,096,614円
たわらノーロード 国内債券<ラップ専用>	11,574,644,802円
MHAM動的パッケージファンド[適格機関投資家限定]	40,213,609,845円
MHAM日本債券パッシブファンド[適格機関投資家限定]	28,799,616,122円
MHAM動的パッケージ4資産ファンド[適格機関投資家限定]	188,109,100円
計	410,724,891,735円
2. 受益権の総数	410,724,891,735口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	2025年12月31日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。

2. 時価の算定方法	<p>(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 該当事項はありません。</p> <p>(3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	2025年12月31日現在
1口当たり純資産額	1,1340円
(1万口当たり純資産額)	(11,340円)

外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド
貸借対照表

(単位：円)

2025年12月31日現在

資産の部	
流動資産	
預金	571,557,513
コール・ローン	639,537,268
国債証券	306,650,385,004
未収利息	2,727,309,639
前払費用	240,712,180
流動資産合計	310,829,501,604
資産合計	310,829,501,604
負債の部	
流動負債	
未払解約金	8,595,000
流動負債合計	8,595,000
負債合計	8,595,000
純資産の部	
元本等	
元本	115,797,156,287
剰余金	
剰余金又は欠損金()	195,023,750,317
元本等合計	310,820,906,604
純資産合計	310,820,906,604
負債純資産合計	310,829,501,604

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。</p>
2. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建資産及び負債は、計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円貨に換算するほか、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び同第61条にしたがって換算しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

項目	2025年12月31日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	121,182,814,511円
同期中追加設定元本額	13,840,958,503円
同期中一部解約元本額	19,226,616,727円
元本の内訳	
ファンド名	
D I A M外国債券パッシブ・ファンド	8,897,241,473円
たわらノーロード 先進国債券	26,111,312,933円
たわらノーロード バランス（8資産均等型）	5,309,051,201円
たわらノーロード バランス（堅実型）	76,061,407円
たわらノーロード バランス（標準型）	546,228,809円
たわらノーロード バランス（積極型）	154,683,528円
たわらノーロード スマートグローバルバランス（保守型）	17,700,237円
たわらノーロード スマートグローバルバランス（安定型）	924,864,889円
たわらノーロード スマートグローバルバランス（安定成長型）	1,713,176,756円
たわらノーロード スマートグローバルバランス（成長型）	917,080,737円
たわらノーロード スマートグローバルバランス（積極型）	617,175,507円
たわらノーロード 最適化バランス（保守型）	1,645,634円
たわらノーロード 最適化バランス（安定型）	12,127,882円
たわらノーロード 最適化バランス（安定成長型）	145,823,360円
たわらノーロード 最適化バランス（成長型）	39,397,188円
たわらノーロード 最適化バランス（積極型）	27,763,558円
マスターズ・マルチアセット・ファンド（安定型）	54,857,394円
マスターズ・マルチアセット・ファンド（バランス型）	12,725,900円
マスターズ・マルチアセット・ファンド（積極型）	447,717円
D I A M外国債券インデックスファンド<DC年金>	6,929,193,530円
One DC 先進国債券インデックスファンド	3,911,834,993円
Oneグローバルバランス	193,499,585円
D I A Mバランス・ファンド<DC年金> 1安定型	772,521,481円
D I A Mバランス・ファンド<DC年金> 2安定・成長型	2,608,980,983円
D I A Mバランス・ファンド<DC年金> 3成長型	3,365,545,438円
D I A M DC バランス30インデックスファンド	360,592,663円
D I A M DC バランス50インデックスファンド	840,298,768円
D I A M DC バランス70インデックスファンド	894,821,370円
マネックス資産設計ファンド<隔月分配型>	22,221,019円

マネックス資産設計ファンド<育成型>	946,799,955円
マネックス資産設計ファンド エボリューション	33,205,553円
D I A M D C 8資産バランスファンド(新興国10)	156,797,134円
D I A M D C 8資産バランスファンド(新興国20)	176,543,663円
D I A M D C 8資産バランスファンド(新興国30)	322,096,990円
クルーズコントロール	699,108,347円
D I A M 8資産バランスファンドN<DC年金>	225,130,824円
4資産分散投資・ハイクラス<DC年金>	1,366,538,817円
4資産分散投資・スタンダード<DC年金>	1,123,327,142円
9資産分散投資・スタンダード<DC年金>	174,387,879円
4資産分散投資・ミドルクラス<DC年金>	994,791,313円
Oneグローバル最適化バランス(安定型)<ラップ向け>	3,946,680円
Oneグローバル最適化バランス(成長型)<ラップ向け>	29,560,810円
D I A Mパッシブ資産分散ファンド	740,250,265円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2019-12(適格機関投資家限定)	540,703,699円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-06(適格機関投資家限定)	542,852,359円
マルチアセット・インカム戦略ファンド20-08(適格機関投資家限定)	64,653,134円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-09(適格機関投資家限定)	326,561,408円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-03(適格機関投資家限定)	38,515,464円
インカム重視マルチアセット運用ファンド 2021-04(適格機関投資家限定)	1,378,242,533円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(内外株式債券型・シグナルヘッジ付き)2021-06(適格機関投資家限定)	156,532,574円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-09(適格機関投資家限定)	363,954,948円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(内外株式債券型・シグナルヘッジ付き)2022-05(適格機関投資家限定)	212,726,503円
予兆モデル活用型戦略ファンド2024-01(適格機関投資家限定)	880,448,066円
D I A M為替フルヘッジ型外国債券パッシブ私募ファンド(適格機関投資家向け)	5,520,687,110円
D I A M外国債券パッシブファンド(適格機関投資家向け)	1,341,434,939円
外国債券パッシブファンド(適格機関投資家限定)	4,210,819,129円
D I A Mワールドバランス25VA(適格機関投資家限定)	31,620,195円
インカム重視マルチアセット運用ファンド(適格機関投資家限定)	574,936,592円
D I A Mグローバル・バランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	164,780,230円
D I A Mグローバル・バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	176,861,377円
D I A M国際分散バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	9,179,914円
D I A M国際分散バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	16,539,587円
D I A M国内重視バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	5,052,382円
D I A M国内重視バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	52,265円
D I A M世界バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	125,209円
D I A M世界バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	527,870円
D I A Mバランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	712,608,258円
D I A Mバランスファンド37.5VA(適格機関投資家限定)	994,518,340円
D I A Mバランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	1,990,697,848円
D I A Mグローバル・アセット・バランスVA(適格機関投資家限定)	34,580,178円

DIAMグローバル・アセット・バランスVA2(適格機関投資家限定)	76,104,873円
DIAM アクサ グローバル バランスファンド30VA(適格機関投資家限定)	623,160,720円
DIAM世界アセットバランスファンドVA(適格機関投資家向け)	122,380,033円
DIAM世界バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)	146,236円
DIAM世界アセットバランスファンド2VA(適格機関投資家限定)	106,471,805円
DIAM世界アセットバランスファンド3VA(適格機関投資家限定)	98,774,219円
DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)	121,558,411円
DIAM世界バランス25VA(適格機関投資家限定)	22,970,908円
動的パッケージファンド<DC年金>	60,142,120円
コア資産形成ファンド	22,051,977円
たわらノーロード 外国債券(為替ヘッジなし)<ラップ専用>	3,077,167,836円
たわらノーロード 外国債券(為替ヘッジあり)<ラップ専用>	6,290,878,159円
MHAM動的パッケージファンド[適格機関投資家限定]	5,840,640,950円
MHAM外国債券パッシブファンド[適格機関投資家限定]	6,573,134,617円
計	115,797,156,287円
2. 受益権の総数	115,797,156,287口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	2025年12月31日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短時間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	2025年12月31日現在
1口当たり純資産額	2.6842円
(1万口当たり純資産額)	(26,842円)

為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド
貸借対照表

(単位：円)

2025年12月31日現在

資産の部	
流動資産	
預金	332,869,882
コール・ローン	194,787,389
国債証券	267,132,803,367
派生商品評価勘定	405,408
未収入金	940,190
未収利息	2,508,596,188
前払費用	125,669,901
流動資産合計	270,296,072,325
資産合計	
270,296,072,325	
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	3,482,566,481
未払金	22,299,585
未払解約金	1,724,000
流動負債合計	3,506,590,066
負債合計	
3,506,590,066	
純資産の部	
元本等	
元本	231,154,918,141
剰余金	
剰余金又は欠損金()	35,634,564,118
元本等合計	266,789,482,259
純資産合計	
266,789,482,259	
負債純資産合計	
270,296,072,325	

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（但し、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額又は日本証券業協会発表の売買参考統計値（平均値）等で評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引</p> <p>原則として、わが国における計算日の対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建取引等の処理基準</p> <p>外貨建資産及び負債は、計算日の対顧客電信売買相場の仲値により円貨に換算するほか、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び同第61条にしたがって換算しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

項目	2025年12月31日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	231,642,030,114円
同期中追加設定元本額	23,268,073,906円
同期中一部解約元本額	23,755,185,879円
元本の内訳	
ファンド名	
たわらノーロード 先進国債券<為替ヘッジあり>	15,622,000,641円
たわらノーロード バランス(堅実型)	1,949,954,615円
たわらノーロード バランス(標準型)	7,283,941,643円
たわらノーロード バランス(積極型)	4,677,887,157円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(保守型)	70,584,269円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定型)	2,423,684,250円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(安定成長型)	3,033,917,875円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(成長型)	492,264,352円
たわらノーロード スマートグローバルバランス(積極型)	173,393円
たわらノーロード 最適化バランス(保守型)	5,415,168円
たわらノーロード 最適化バランス(安定型)	29,045,764円
たわらノーロード 最適化バランス(安定成長型)	280,435,322円
たわらノーロード 最適化バランス(成長型)	36,559,666円
たわらノーロード 最適化バランス(積極型)	91,804円
マスターズ・マルチアセット・ファンド(安定型)	157,152,462円
マスターズ・マルチアセット・ファンド(バランス型)	419,190,656円
マスターズ・マルチアセット・ファンド(積極型)	49,154,213円
未来のわたし(ターゲット・イヤー/～1972年生まれ向け)	3,091,045円
未来のわたし(ターゲット・イヤー/1973～1977年生まれ向け)	1,418,885円
未来のわたし(ターゲット・イヤー/1978～1982年生まれ向け)	487,409円
未来のわたし(ターゲット・イヤー/1983～1987年生まれ向け)	193,887円

未来のわたし(ターゲット・イヤー/1988~1992年生まれ向け)	17,948円
投資のソムリエ	70,363,644,488円
投資のソムリエ<DC年金>	13,225,871,514円
投資のソムリエ<DC年金>リスク抑制型	17,796,113,830円
リスク抑制世界8資産バランスファンド	33,623,957,446円
ワールドアセットバランス(基本コース)	1,544,255,579円
ワールドアセットバランス(リスク抑制コース)	4,006,402,792円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2045)	1,058,445,585円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2055)	570,701,061円
リスク抑制世界8資産バランスファンド(DC)	210,912,196円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2035)	4,016,277,459円
リスクコントロール世界資産分散ファンド	11,595,266,582円
9資産分散投資・スタンダード<DC年金>	7,512,610,972円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)	1,348,093,269円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)	625,892,072円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)	372,847,651円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2065)	141,488,887円
Oneグローバル最適化バランス(安定型)<ラップ向け>	12,821,410円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2070)	3,427,711円
外国債券パッシブファンド2(為替フルヘッジ)(適格機関投資家限定)	18,054,258,860円
先進国債券パッシブファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)	6,552,685,037円
投資のソムリエ・私募(適格機関投資家限定)	883,804,640円
リスクコントロール世界8資産バランスファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	46,587,431円
DIAM世界アセットバランスファンド2VA(適格機関投資家限定)	245,087,677円
DIAM世界アセットバランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	27,553,673円
DIAM世界アセットバランスファンド25VA(適格機関投資家限定)	145,205,327円
DIAM世界アセットバランスファンド3VA(適格機関投資家限定)	284,228,131円
DIAM世界アセットバランスファンド4VA(適格機関投資家限定)	349,814,437円
計	231,154,918,141円
2. 受益権の総数	231,154,918,141口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	2025年12月31日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。

2. 時価の算定方法	<p>(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」にて記載しております。</p> <p>(3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。</p>

(デリバティブ取引等に関する注記)

通貨関連

種類	2025年12月31日現在				
	契約額等(円)	うち		時価(円)	
		1年超			
市場取引以外の取引 為替予約取引 売建	267,665,439,717	-	-	271,147,600,790	3,482,161,073
アメリカ・ドル	123,039,988,943	-	-	123,780,970,080	740,981,137
イギリス・ポンド	15,507,911,422	-	-	15,901,718,993	393,807,571
イスラエル・シェケル	1,055,991,218	-	-	1,085,353,289	29,362,071
オーストラリア・ドル	3,305,040,827	-	-	3,393,995,856	88,955,029
オフショア・人民元	31,429,567,353	-	-	31,844,807,761	415,240,408
カナダ・ドル	5,511,938,151	-	-	5,635,822,424	123,884,273
シンガポール・ドル	1,027,319,542	-	-	1,038,929,703	11,610,161
スウェーデン・クローナ	450,662,872	-	-	465,186,744	14,523,872
デンマーク・クローネ	548,953,326	-	-	559,227,824	10,274,498
ニュージーランド・ドル	817,407,535	-	-	830,351,368	12,943,833
ノルウェー・クローネ	458,401,986	-	-	464,807,322	6,405,336
ポーランド・ズロチ	1,854,043,075	-	-	1,892,937,076	38,894,001
マレーシア・リングギット	1,330,443,335	-	-	1,358,229,236	27,785,901
メキシコ・ペソ	2,367,546,896	-	-	2,431,796,560	64,249,664
ユーロ	78,960,223,236	-	-	80,463,466,554	1,503,243,318
合計	267,665,439,717	-	-	271,147,600,790	3,482,161,073

(注)時価の算定方法

為替予約取引

1. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

計算日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの先物相場の仲値をもとに計算しております。

- ・計算日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

2. 計算日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客電信売買相場の仲

値で評価しております。

3. 換算において円未満の端数は切捨てております。

上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	2025年12月31日現在
1口当たり純資産額	1.1542円
(1万口当たり純資産額)	(11,542円)

J-REITインデックスファンド・マザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

2025年12月31日現在

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	4,756,937,064
投資証券	201,152,909,600
派生商品評価勘定	159,677,730
未収入金	59,572,907
未収配当金	2,134,027,256
未収利息	93,527
差入委託証拠金	228,852,090
流動資産合計	208,492,070,174
資産合計	
208,492,070,174	
負債の部	
流動負債	
前受金	184,276,500
未払金	1,193,999,872
未払解約金	66,457,000
流動負債合計	1,444,733,372
負債合計	
1,444,733,372	
純資産の部	
元本等	
元本	72,087,644,512
剰余金	
剰余金又は欠損金()	134,959,692,290
元本等合計	207,047,336,802
純資産合計	
207,047,336,802	
負債純資産合計	
208,492,070,174	

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	自 2025年7月1日 至 2025年12月31日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、金融商品取引所等における最終相場（最終相場のないものについては、それに準ずる価額）、又は金融商品取引業者等から提示される気配相場に基づいて評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる金融商品取引所等の発表する清算値段又は最終相場によっております。
3. 収益及び費用の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	2025年12月31日現在
1. 本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	73,171,726,112円
同期中追加設定元本額	11,577,980,316円
同期中一部解約元本額	12,662,061,916円
元本の内訳	
ファンド名	
たわらノーロード 国内リート	6,401,803,272円
たわらノーロード バランス（8資産均等型）	4,990,650,074円
たわらノーロード バランス（堅実型）	47,647,469円
たわらノーロード バランス（標準型）	1,274,032,997円
たわらノーロード バランス（積極型）	1,881,859,724円
たわらノーロード スマートグローバルバランス（保守型）	36,161円
たわらノーロード スマートグローバルバランス（安定型）	356,649,972円
たわらノーロード スマートグローバルバランス（安定成長型）	1,032,397,378円
たわらノーロード スマートグローバルバランス（成長型）	768,419,691円
たわらノーロード スマートグローバルバランス（積極型）	881,740,467円
たわらノーロード 最適化バランス（安定型）	5,276,570円
たわらノーロード 最適化バランス（安定成長型）	83,806,805円
たわらノーロード 最適化バランス（成長型）	25,884,275円
たわらノーロード 最適化バランス（積極型）	34,392,433円
マスターズ・マルチアセット・ファンド（安定型）	20,703,105円
マスターズ・マルチアセット・ファンド（バランス型）	62,453,881円
マスターズ・マルチアセット・ファンド（積極型）	42,071,913円
マネックス資産設計ファンド＜隔月分配型＞	11,239,081円
マネックス資産設計ファンド＜育成型＞	465,986,981円
マネックス資産設計ファンド エボリューション	4,539,059円
DIAM DC 8資産バランスファンド（新興国10）	149,418,663円
DIAM DC 8資産バランスファンド（新興国20）	267,473,120円
DIAM DC 8資産バランスファンド（新興国30）	550,165,165円
投資のソムリエ	4,201,147,739円
投資のソムリエ＜DC年金＞	794,928,861円

DIAM 8資産バランスファンドN<DC年金>	218,643,216円
投資のソムリエ<DC年金>リスク抑制型	840,965,855円
リスク抑制世界8資産バランスファンド	1,593,575,556円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2045)	82,427,021円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2055)	44,498,747円
リスク抑制世界8資産バランスファンド(DC)	9,694,459円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2035)	239,666,620円
リスクコントロール世界資産分散ファンド	925,301,473円
9資産分散投資・スタンダード<DC年金>	122,235,505円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2040)	89,426,814円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2050)	48,869,897円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2060)	28,736,293円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2065)	11,006,079円
Oneグローバル最適化バランス(成長型)<ラップ向け>	36,817,823円
投資のソムリエ(ターゲット・イヤー2070)	266,928円
Jリートインデックスファンド(DC)	100,659,797円
MHAM J-REITインデックスファンド(隔月決算型)	47,970,539円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2019-12(適格機関投資家限定)	31,823,295円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(株式先物活用型)20-04(適格機関投資家限定)	526,249,258円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-06(適格機関投資家限定)	31,835,748円
マルチアセット・インカム戦略ファンド20-08(適格機関投資家限定)	66,227,717円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2020-09(適格機関投資家限定)	18,976,040円
低リスク・損失抑制型マルチアセット戦略ファンド(適格機関投資家限定)	67,760,668円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(株式先物活用型・シグナルヘッジ付き)21-03(適格機関投資家限定)	438,602,454円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-03(適格機関投資家限定)	40,742,246円
インカム重視マルチアセット運用ファンド 2021-04(適格機関投資家限定)	80,506,829円
低リスク・損失抑制型マルチアセット戦略ファンド2021-09(適格機関投資家限定)	67,662,390円
インカム重視マルチアセット運用ファンド2021-09(適格機関投資家限定)	21,323,150円
固定比率マルチアセット戦略ファンド2021-10(適格機関投資家限定)	174,666,278円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(日米資産投資・シグナルヘッジ付き)2022-10(適格機関投資家限定)	1,040,612,738円
予兆モデル活用型戦略ファンド2024-01(適格機関投資家限定)	52,538,533円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(株式先物活用型・シグナルヘッジ付き)24-04(適格機関投資家限定)	235,594,938円
マルチアセット・インカム戦略ファンド(日米資産投資・シグナルヘッジ付き)2024-05(適格機関投資家限定)	328,091,517円
DIAM J-REITインデックスファンド(適格機関投資家向け)	1,791,769,433円
投資のソムリエ・私募(適格機関投資家限定)	53,176,831円
日米資産配分戦略ファンド(インカム重視型)(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)	92,192,758円
インカム重視マルチアセット運用ファンド(適格機関投資家限定)	33,818,439円

リスクコントロール世界8資産バランスファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	2,787,036円
DIAMグローバル・リスクファクター・パリティ戦略ファンド(適格機関投資家限定)	419,025,058円
MHAM J-REITインデックスファンド DC年金	6,351,784,469円
MHAM J-REITインデックスファンド(毎月決算型)	23,005,304,453円
MHAM J-REITインデックスファンド(年1回決算型)	2,519,169,552円
たわらノーロード 国内リート<ラップ専用>	5,799,915,206円
計	72,087,644,512円
2. 受益権の総数	72,087,644,512口

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	2025年12月31日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 「(デリバティブ取引等に関する注記)」にて記載しております。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)

不動産投信関連

種類	2025年12月31日現在			評価損益(円)
	契約額等(円)	うち 1年超	時価(円)	
市場取引 先物取引 買建	5,538,294,500	-	5,698,286,500	159,992,000
合計	5,538,294,500	-	5,698,286,500	159,992,000

(注)時価の算定方法

不動産投信指数先物取引

- 原則として計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。
- 先物取引の残高表示は、契約額によっております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものではありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	2025年12月31日現在
1口当たり純資産額	2.8722円
(1万口当たり純資産額)	(28,722円)

One国内小型株オープン(FOFs用)(適格機関投資家限定)

以下は、国内投資信託「One国内小型株オープン(FOFs用)(適格機関投資家限定)」の直近の監査済み財務諸表であります。

(1) 貸借対照表

(単位:円)

	第1期 2025年2月3日現在
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	11,834
親投資信託受益証券	1,063,763
流動資産合計	1,075,597
資産合計	1,075,597
負債の部	
流動負債	
未払受託者報酬	14
流動負債合計	14
負債合計	14
純資産の部	
元本等	
元本	1,116,013
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金()	40,430
(分配準備積立金)	7,890
元本等合計	1,075,583
純資産合計	1,075,583
負債純資産合計	1,075,597

(2) 損益及び剰余金計算書

(単位:円)

	第1期
	自 2024年7月19日
	至 2025年2月3日
営業収益	
有価証券売買等損益	53,237
営業収益合計	53,237
営業費用	
受託者報酬	199
営業費用合計	199
営業利益又は営業損失()	53,436
経常利益又は経常損失()	53,436
当期純利益又は当期純損失()	53,436
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額()	18,838
期首剰余金又は期首欠損金()	-
剰余金増加額又は欠損金減少額	180
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	180
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	6,012
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	6,012
分配金	-
期末剰余金又は期末欠損金()	40,430

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

項目	第1期
	自 2024年7月19日 至 2025年2月3日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、親投資信託受益証券の基準価額に基づいて評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	計算期間末日の取扱い 当ファンドは、原則として毎年2月1日を計算期間の末日としておりますが、該当日が休業日のため、当計算期間末日を2025年2月3日としております。

(貸借対照表に関する注記)

項目	第1期
	2025年2月3日現在
1. 期首元本額	1,000,000円
期中追加設定元本額	228,013円
期中一部解約元本額	112,000円
2. 受益権の総数	1,116,013口
3. 元本の欠損	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は40,430円であります。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第1期
	自 2024年7月19日 至 2025年2月3日
1. 分配金の計算過程	計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,890円)、費用控除後、繰越欠損金を補填した有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定される収益調整金(84円)及び分配準備積立金(0円)より分配対象収益は7,974円(1万口当たり71.45円)ですが、分配を行っておりません。

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

項目	第1期
	自 2024年7月19日 至 2025年2月3日
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、証券投資信託であり、信託約款に規定する「運用の基本方針」に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。
2. 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は「附属明細表」に記載しております。これらは、市場リスク(価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスク)、信用リスク、及び流動性リスクを有しております。

3. 金融商品に係るリスク管理体制	運用担当部署から独立したコンプライアンス・リスク管理担当部署が、運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用担当部署へ対応の指示等を行うことにより、適切な管理を行います。運用評価委員会等はこれらの運用リスク管理状況の報告を受け、総合的な見地から運用状況全般の管理を行います。
-------------------	--

2. 金融商品の時価等に関する事項

項目	第1期 2025年2月3日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1)有価証券 「(重要な会計方針に係る事項に関する注記)」にて記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務)は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

売買目的有価証券

種類	第1期 2025年2月3日現在
	当期の 損益に含まれた 評価差額(円)
親投資信託受益証券	36,225
合計	36,225

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報に関する注記)

	第1期 2025年2月3日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	0.9638円 (9,638円)

(4) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

種類	銘柄	券面総額 (円)	評価額 (円)	備考
親投資信託受益証券	新光小型株マザーファンド	149,363	1,063,763	
親投資信託受益証券	合計	149,363	1,063,763	
合計			1,063,763	

(注) 親投資信託受益証券における券面総額欄の数値は、証券数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

4【委託会社等の概況】

(1)【資本金の額】

(2026年1月30日現在)

資本金の額	20億円	
発行する株式総数	100,000株	(普通株式 上限100,000株、A種種類株式 上限30,000株)
発行済株式総数	40,000株	(普通株式24,490株、A種種類株式15,510株)
種類株式の発行が可能		

直近5カ年の資本金の増減：該当事項はありません。

(2)【事業の内容及び営業の状況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用(投資運用業)ならびにその受益証券(受益権)の募集又は私募(第二種金融商品取引業)を行っています。また、「金融商品取引法」に定める投資助言・代理業を行っています。

2026年1月30日現在、委託会社の運用する投資信託は以下の通りです。(親投資信託を除く)

基本的性格	本数	純資産総額(単位:円)
追加型公社債投資信託	26	1,670,491,029,541
追加型株式投資信託	750	20,046,234,558,181
単位型公社債投資信託	18	27,080,837,089
単位型株式投資信託	162	847,581,039,849
合計	956	22,591,387,464,660

(3) 【その他】

(1) 定款の変更、事業譲渡又は事業譲受、出資の状況その他の重要事項

委託会社は2025年5月14日付で100%子会社であるAsset Management One Singapore Pte. Ltd. を清算しました。

委託会社の関連会社であるPayPayアセットマネジメント株式会社は2025年12月26日付で清算終了しました。

(2) 訴訟事件その他の重要事項

委託会社およびファンドに重要な影響を与えた事実、または与えると予想される事実はありません。

5【委託会社等の経理状況】

- 1．委託会社であるアセットマネジメントOne株式会社（以下「委託会社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）により作成しております。
また、中間財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第282条及び第306条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）により作成しております。
- 2．財務諸表及び中間財務諸表の金額は、百万円未満の端数を切り捨てて記載しております。
- 3．委託会社は、第40期事業年度（自2024年4月1日至2025年3月31日）の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人の監査を受け、第41期中間会計期間（自2025年4月1日至2025年9月30日）の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人の中間監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

(単位：百万円)

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産		
現金・預金	41,183	40,201
有価証券	-	0
金銭の信託	28,143	31,340
未収委託者報酬	19,018	19,595
未収運用受託報酬	3,577	4,015
未収投資助言報酬	315	359
未収収益	6	11
前払費用	1,510	1,758
その他	2,088	2,106
流動資産計	95,843	99,390
固定資産		
有形固定資産		
建物	1 918	1 841
器具備品	1 130	1 352
リース資産	1 5	1 3
建設仮勘定	39	163
無形固定資産		
ソフトウェア	2,951	2,740
ソフトウェア仮勘定	1,543	1,030
電話加入権	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	184	183
関係会社株式	4,447	4,037
長期差入保証金	768	760
繰延税金資産	3,406	3,842
その他	128	215
固定資産計	14,524	14,172
資産合計	110,368	113,562

(単位:百万円)

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債		
預り金	1,982	227
リース債務	1	1
未払金	8,970	8,823
未払収益分配金	1	1
未払償還金	0	0
未払手数料	8,246	8,596
その他未払金	721	225
未払費用	8,616	9,265
未払法人税等	3,676	4,277
未払消費税等	1,497	1,606
賞与引当金	1,927	2,198
役員賞与引当金	52	60
流動負債計	26,725	26,462
固定負債		
リース債務	4	2
退職給付引当金	2,719	2,715
時効後支払損引当金	73	64
固定負債計	2,796	2,781
負債合計	29,521	29,244
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	19,552	19,552
資本準備金	2,428	2,428
その他資本剰余金	17,124	17,124
利益剰余金	59,294	62,765
利益準備金	123	123
その他利益剰余金	59,170	62,642
別途積立金	31,680	31,680
繰越利益剰余金	27,490	30,962
株主資本計	80,846	84,318
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	0
評価・換算差額等計	0	0
純資産合計	80,846	84,318
負債・純資産合計	110,368	113,562

(2) 【損益計算書】

(単位：百万円)

	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
	営業収益			
委託者報酬	102,113		112,281	
運用受託報酬	17,155		17,981	
投資助言報酬	2,211		2,374	
その他営業収益	26		30	
営業収益計		121,507		132,668
営業費用				
支払手数料	44,366		49,384	
広告宣伝費	329		401	
公告費	0		0	
調査費	35,468		39,013	
調査費	13,277		14,703	
委託調査費	22,190		24,309	
委託計算費	558		522	
営業雑経費	823		774	
通信費	36		38	
印刷費	598		538	
協会費	65		67	
諸会費	44		47	
支払販売手数料	78		81	
営業費用計		81,545		90,097
一般管理費				
給料	10,763		11,477	
役員報酬	164		181	
給料・手当	9,425		10,148	
賞与	1,173		1,147	
交際費	34		59	
寄付金	15		12	
旅費交通費	162		246	
租税公課	489		668	
不動産賃借料	1,030		1,085	
退職給付費用	412		421	
固定資産減価償却費	1,567		1,457	
福利厚生費	46		57	
修繕費	1		0	
賞与引当金繰入額	1,927		2,198	
役員賞与引当金繰入額	52		60	
機器リース料	0		0	
事務委託費	3,379		3,261	
事務用消耗品費	46		43	
器具備品費	3		2	
諸経費	240		313	
一般管理費計		20,172		21,366
営業利益		19,788		21,204

（単位：百万円）

	第39期 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）		第40期 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	
営業外収益				
受取利息		4		12
受取配当金	1	899	1	450
時効成立分配金・償還金		0		0
雑収入		18		11
時効後支払損引当金戻入額		35		7
営業外収益計		959		482
営業外費用				
為替差損		19		39
金銭の信託運用損		1,008		329
早期割増退職金		6		6
雑損失		0		-
営業外費用計		1,034		374
経常利益		19,712		21,312
特別利益				
固定資産売却益		-	2	6
特別利益計		-		6
特別損失				
固定資産除却損		6		13
関係会社株式評価損		1,362		31
減損損失	3	231		-
関係会社清算損		-		25
特別損失計		1,601		70
税引前当期純利益		18,111		21,247
法人税、住民税及び事業税		5,769		7,356
法人税等調整額		510		435
法人税等合計		5,258		6,920
当期純利益		12,852		14,326

(3)【株主資本等変動計算書】

第39期(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			利益剰余金 合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金			
						別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,000	2,428	17,124	19,552	123	31,680	25,678	57,481	79,034
当期変動額									
剰余金の配当							11,040	11,040	11,040
当期純利益							12,852	12,852	12,852
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	1,812	1,812	1,812
当期末残高	2,000	2,428	17,124	19,552	123	31,680	27,490	59,294	80,846

	評価・換算差額等		純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	0	0	79,034
当期変動額			
剰余金の配当			11,040
当期純利益			12,852
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)	0	0	0
当期変動額合計	0	0	1,812
当期末残高	0	0	80,846

第40期(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,000	2,428	17,124	19,552	123	31,680	27,490	59,294	80,846
当期変動額									
剰余金の配当							10,855	10,855	10,855
当期純利益							14,326	14,326	14,326
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	3,471	3,471	3,471
当期末残高	2,000	2,428	17,124	19,552	123	31,680	30,962	62,765	84,318

	評価・換算差額等		純資産 合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	0	0	80,846
当期変動額			
剰余金の配当			10,855
当期純利益			14,326
株主資本以外の 項目の当期変動 額(純額)	0	0	0
当期変動額合計	0	0	3,471
当期末残高	0	0	84,318

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1) 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 市場価格のない株式等以外のもの 決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定) 市場価格のない株式等 移動平均法による原価法</p>
2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法
3. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産(リース資産を除く) 定率法を採用しております。ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。 建物 ... 8～18年 器具備品 ... 3～20年</p> <p>(2) 無形固定資産(リース資産を除く) 定額法を採用しております。 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。</p> <p>(3) リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。</p>
4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準	外貨建金銭債権債務は、期末日の直物等為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
5. 引当金の計上基準	<p>(1) 賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。</p> <p>(2) 役員賞与引当金 役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額に基づき当事業年度に見合う分を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職一時金制度について、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。 退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法 過去勤務費用については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(5年)による定額法により按分した額を費用処理しております。 数理計算上の差異については、各事業年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(5年または10年)による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p>

6. 収益及び費用の計上基準	<p>当社は、資産運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬及び投資助言報酬を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。</p> <p>(1) 委託者報酬 委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき、日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>(2) 運用受託報酬 運用受託報酬は、投資顧問契約で定められた報酬に基づき、確定した報酬を顧問口座によって主に年1回又は2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>(3) 投資助言報酬 投資助言報酬は、投資助言契約で定められた報酬に基づき、確定した報酬を顧問口座によって主に年2回又は4回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>(4) 成功報酬 成功報酬は、対象となる投資信託または顧問口座の特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬は成功報酬を受領する権利が確定した時点で収益として認識しております。</p>
----------------	---

(未適用の会計基準等)

- ・「リースに関する会計基準」(企業会計基準第34号 2024年9月13日 企業会計基準委員会)
- ・「リースに関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第33号 2024年9月13日 企業会計基準委員会)等

(1) 概要

企業会計基準委員会において、日本基準を国際的に整合性のあるものとする取組みの一環として、借手の全てのリースについて資産及び負債を認識するリースに関する会計基準の開発に向けて、国際的な会計基準を踏まえた検討が行われ、基本的な方針として、IFRS第16号の単一の会計処理モデルを基礎とするものの、IFRS第16号の全ての定めを採り入れるのではなく、主要な定めのみを採り入れることにより、簡素で利便性が高く、かつ、IFRS第16号の定めを個別財務諸表に用いても、基本的に修正が不要となることを目指したリース会計基準等が公表されました。

借手の会計処理として、借手のリースの費用配分の方法については、IFRS第16号と同様に、リースがファイナンス・リースであるかオペレーティング・リースであるかにかかわらず、全てのリースについて使用権資産に係る減価償却費及びリース負債に係る利息相当額を計上する単一の会計処理モデルが適用されます。

(2) 適用予定日

2028年3月期の期首より適用予定であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

「リースに関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

注記事項

（貸借対照表関係）

1. 有形固定資産の減価償却累計額

（百万円）

	第39期 （2024年3月31日現在）	第40期 （2025年3月31日現在）
建物	630	740
器具備品	769	662
リース資産	3	5

（損益計算書関係）

1. 各科目に含まれている関係会社に対する営業外収益は、次のとおりであります。

（百万円）

	第39期 （自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日）	第40期 （自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日）
受取配当金	895	438

2. 固定資産売却益

固定資産売却益の内容は、次のとおりであります。

	第39期 （自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日）	第40期 （自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日）
ソフトウェア	-	6

3. 減損損失

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

当社は、以下の資産について減損損失を計上しました。

（百万円）

場所	用途	種類	減損損失
本社	事業用資産	ソフトウェア仮勘定	231

当社は、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として、主として事業別に資産をグルーピングしております。当社の資産運用業に係るソフトウェア開発計画の大幅な延期に伴い、当該計画に係るソフトウェア仮勘定について、回収可能額まで減額し、当該減少額231百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該資産の回収可能額は使用価値により測定しており、使用価値については、将来キャッシュ・フローが見込まれないため、備忘価額の1円として評価しております。

第40期（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

当事業年度については、該当事項ありません。

（株主資本等変動計算書関係）

第39期（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式の種類	当事業年度期首 株式数（株）	当事業年度 増加株式数（株）	当事業年度 減少株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
普通株式	24,490	-	-	24,490
A種種類株式	15,510	-	-	15,510
合計	40,000	-	-	40,000

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2023年6月16日 定時株主総会	普通株式	11,040	276,000	2023年3月31日	2023年6月19日
	A種種類 株式				

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の 原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当 額(円)	基準日	効力発生(予定)日
2024年6月17日 定時株主総会	普通 株式	利益 剰余金	10,280	257,000	2024年3月31日	2024年6月18日
	A種種 類株式					

第40期(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式の種類	当事業年度期首 株式数(株)	当事業年度 増加株式数(株)	当事業年度 減少株式数(株)	当事業年度末 株式数(株)
普通株式	24,490	-	-	24,490
A種種類株式	15,510	-	-	15,510
合計	40,000	-	-	40,000

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金(財 産)の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2024年3月15日 みなし株主総会	普通 株式	575	14,390	2024年4月1日	2024年4月1日
	A種種類 株式				
2024年6月17日 定時株主総会	普通株式	10,280	257,000	2024年3月31日	2024年6月18日
	A種種類 株式				

会社法第319条第1項に基づき、2024年3月15日に決議があったものとみなされた株主総会での配当決議は当社の子会社であったAsset Management One USA Inc. (以下「AM-One USA」という)の全株式の現物配当であります。

本現物配当は、株式会社みずほフィナンシャルグループ(以下「MHFG」という)の子会社である米州みずほLLC(以下「米州みずほ」という)が、2024年10月1日に米国外国銀行規制上の中間持株会社へ移行することに伴う規制上の対応として実施したものです。

当社が100%保有していたAM-One USAの議決権は、本現物配当後、米州みずほが議決権の51%を、第一生命ホールディングス株式会社(以下「DL」という)が議決権の49%をそれぞれ保有します。当社を通じてMHFGとDLが間接的に保有していたAM-One USA株式の議決権比率と同等となります。

- (2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの
2025年6月16日開催予定の定時株主総会において、以下のとおり決議を予定しております。

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生(予定)日
2025年6月16日 定時株主総会	普通株式	利益 剰余金	11,440	286,000	2025年3月31日	2025年6月17日
	A種種類 株式					

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業を営んでおります。資金運用については、短期的な預金等に限定しております。

当社が運用を行う投資信託の商品性を適正に維持するため、当該投資信託を特定金外信託を通じて、または直接保有しております。なお、特定金外信託を通じて行っているデリバティブ取引は後述するリスクを低減する目的で行っております。当該デリバティブ取引は、実需の範囲内でのみ利用することとしており、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

金銭の信託の主な内容は、当社運用ファンドの安定運用を主な目的として資金投入した投資信託及びデリバティブ取引であります。金銭の信託に含まれる投資信託は為替及び市場価格の変動リスクに晒されておりますが、デリバティブ取引(為替予約取引、株価指数先物取引及び債券先物取引)を利用して一部リスクを低減しております。

営業債権である未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は、相手先の信用リスクに晒されております。

有価証券及び投資有価証券は、主に其他有価証券(投資信託)、業務上の関係を有する企業の株式であり、発行体の信用リスクや市場価格の変動リスクに晒されております。

営業債務である未払手数料は、1年以内の支払期日であります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク(取引先の契約不履行等に係るリスク)の管理

預金の預入先については、余資運用規程に従い、格付けの高い預入先に限定することにより、リスクの軽減を図っております。

営業債権の相手先の信用リスクに関しては、当社の信用リスク管理の基本方針に従い、取引先ごとの期日管理及び残高管理を行うとともに、主な相手先の信用状況を把握する体制としております。

投資有価証券の発行体の信用リスクに関しては、信用情報や時価の把握を定期的に行うことで管理しております。

市場リスク(為替や金利等の変動リスク)の管理

組織規程における分掌業務の定めに基づき、リスク管理担当所管にて、取引残高、損益及びリスク量等の実績管理を行い、定期的に社内委員会での報告を実施しております。

資金調達に係る流動性リスク(支払期日に支払いを実行できなくなるリスク)の管理

取引実行担当所管からの報告に基づき、資金管理担当所管が資金繰りを確認するとともに、十分な手許流動性を維持することなどにより、流動性リスクを管理しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

第39期(2024年3月31日現在)

	貸借対照表計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
(1) 金銭の信託	28,143	28,143	-
(2) 投資有価証券 其他有価証券	1	1	-
資産計	28,145	28,145	-

第40期(2025年3月31日現在)

	貸借対照表計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
(1) 有価証券	0	0	-
(2) 金銭の信託	31,340	31,340	-
(3) 投資有価証券 其他有価証券	0	0	-
資産計	31,342	31,342	-

(注1) 現金・預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬及び未払手数料は、短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、注記を省略しております。

(注2) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第39期(2024年3月31日現在)

	1年以内 (百万円)	1年超5年以内 (百万円)	5年超10年以内 (百万円)	10年超 (百万円)
(1) 現金・預金	41,183	-	-	-
(2) 金銭の信託	28,143	-	-	-
(3) 未収委託者報酬	19,018	-	-	-
(4) 未収運用受託報酬	3,577	-	-	-
(5) 投資有価証券 其他有価証券(投資信託)	-	1	-	-
合計	91,923	1	-	-

第40期(2025年3月31日現在)

	1年以内 (百万円)	1年超5年以内 (百万円)	5年超10年以内 (百万円)	10年超 (百万円)
(1) 現金・預金	40,201	-	-	-
(2) 有価証券	0	-	-	-
(3) 金銭の信託	31,340	-	-	-
(4) 未収委託者報酬	19,595	-	-	-
(5) 未収運用受託報酬	4,015	-	-	-
(6) 投資有価証券 其他有価証券(投資信託)	-	0	-	-
合計	95,154	0	-	-

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

時価で貸借対照表に計上している金融商品

第39期(2024年3月31日現在)

区分	時価(百万円)			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
(1) 金銭の信託	-	28,143	-	28,143
(2) 投資有価証券 其他有価証券	-	1	-	1
資産計	-	28,145	-	28,145

第40期(2025年3月31日現在)

区分	時価(百万円)			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
(1) 有価証券	-	0	-	0
(2) 金銭の信託	-	31,340	-	31,340
(3) 投資有価証券 其他有価証券	-	0	-	0
資産計	-	31,342	-	31,342

(注1) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

有価証券

有価証券は市場における取引価格が存在しない投資信託であり、基準価額を時価としております。

金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産(預金・委託証拠金等)で構成されております。

信託財産を構成する金融商品の時価について、投資信託は基準価額、デリバティブ取引は、取引相手先金融機関より提示された価格によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

投資有価証券

投資有価証券は市場における取引価格が存在しない投資信託であり、基準価額を時価としております。

(注2) 市場価格のない株式等の貸借対照表計上額は次の通りであります。

これらについては、「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号2020年3月31日)第5項に従い、2.金融商品の時価等に関する事項及び3.金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項で開示している表中には含めておりません。

(百万円)

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
投資有価証券(其他有価証券)		
非上場株式	182	182
関係会社株式		
非上場株式	4,447	4,037

(有価証券関係)

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式(第39期の貸借対照表計上額4,447百万円、第40期の貸借対照表計上額4,037百万円)については市場価格がないことから、貸借対照表日における時価及び貸借対照表計上額と当該時価との差額の記載は省略しております。

2. その他有価証券

第39期(2024年3月31日現在)

(百万円)

区分	貸借対照表日における 貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの 投資信託	-	-	-
小計	-	-	-
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの 投資信託	1	2	0
小計	1	2	0
合計	1	2	0

(注)非上場株式(貸借対照表計上額182百万円)については、市場価格がないことから、上表に含めておりません。

第40期(2025年3月31日現在)

(百万円)

区分	貸借対照表日における 貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの 投資信託	-	-	-
小計	-	-	-
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの 投資信託	1	2	0
小計	1	2	0
合計	1	2	0

(注)非上場株式(貸借対照表計上額182百万円)については、市場価格がないことから、上表に含めておりません。

3. 減損処理を行った有価証券

前事業年度において、有価証券について1,362百万円(関係会社株式1,362百万円)減損処理を行っております。

当事業年度において、有価証券について31百万円(関係会社株式31百万円)減損処理を行っております。

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として退職一時金制度(非積立型制度であります)を採用しております。確定拠出型の制度としては確定拠出年金制度を採用しております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	(百万円)	
	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
退職給付債務の期首残高	2,698	2,760
勤務費用	296	299
利息費用	2	2
数理計算上の差異の発生額	9	18
退職給付の支払額	246	321
退職給付債務の期末残高	2,760	2,759

(2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	(百万円)	
	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
非積立型制度の退職給付債務	2,760	2,759
未積立退職給付債務	2,760	2,759
未認識数理計算上の差異	40	44
未認識過去勤務費用	0	0
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	2,719	2,715
退職給付引当金	2,719	2,715
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	2,719	2,715

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

	(百万円)	
	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
勤務費用	296	299
利息費用	2	2
数理計算上の差異の費用処理額	13	14
過去勤務費用の費用処理額	0	0
その他	4	4
確定給付制度に係る退職給付費用	307	312

(注) 上記退職給付費用以外に早期割増退職金として、前事業年度において6百万円、当事業年度において6百万円を営業外費用に計上しております。

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
割引率	0.09%	0.09%
予想昇給率	1.00% ~ 3.56%	1.00% ~ 3.56%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度104百万円、当事業年度108百万円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第39期	第40期
	(2024年3月31日現在)	(2025年3月31日現在)
	(百万円)	(百万円)
繰延税金資産		
未払事業税	195	259
未払事業所税	9	10
賞与引当金	590	673
未払法定福利費	98	106
運用受託報酬	351	555
資産除去債務	17	20
減価償却超過額(一括償却資産)	12	5
減価償却超過額	91	66
繰延資産償却超過額(税法上)	331	407
退職給付引当金	832	855
時効後支払損引当金	22	20
ゴルフ会員権評価損	6	2
関係会社株式評価損	761	774
投資有価証券評価損	4	4
減損損失	70	73
その他	8	6
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延税金資産合計	3,406	3,842
繰延税金負債		
繰延税金負債合計	-	-
繰延税金資産の純額	3,406	3,842

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳

	第39期	第40期
	(2024年3月31日現在)	(2025年3月31日現在)
法定実効税率	30.62 %	30.62 %
(調整)		
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	1.44 %	0.64 %
税制非適格現物配当益金算入項目	-	3.56 %
税率変更による影響	-	0.18 %
その他	0.14 %	0.79 %
税効果会計適用後の法人税等の負担率	29.04 %	32.57 %

3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産の金額の修正

税法の改正に伴い、2026年4月1日以後開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異等に係る繰延税金資産については、法定実効税率を30.62%から31.52%に変更し計算しております。

この変更により、当事業年度の繰延税金資産が37百万円増加し、法人税等調整額が37百万円減少しております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社(以下「AMOne」という)は、2016年7月13日付で締結した、DIAMアセットマネジメント株式会社(以下「DIAM」という)、みずほ投信投資顧問株式会社(以下「MHAM」という)、みずほ信託銀行株式会社(以下「TB」という)及び新光投信株式会社(以下「新光投信」という)(以下総称して「統合4社」という)間の「統合契約書」に基づき、2016年10月1日付で統合いたしました。

1. 結合当事企業

結合当事企業	DIAM	MHAM	TB	新光投信
事業の内容	投資運用業務、投資助言・代理業務	投資運用業務、投資助言・代理業務	信託業務、銀行業務、投資運用業務	投資運用業務、投資助言・代理業務

2. 企業結合日

2016年10月1日

3. 企業結合の方法

MHAMを吸収合併存続会社、新光投信を吸収合併消滅会社とする吸収合併、TBを吸収分割会社、吸収合併後のMHAMを吸収分割承継会社とし、同社がTB資産運用部門に係る権利義務を承継する吸収分割、DIAMを吸収合併存続会社、MHAMを吸収合併消滅会社とする吸収合併の順に実施しております。

4. 結合後企業の名称

アセットマネジメントOne株式会社

5. 企業結合の主な目的

当社は、株式会社みずほフィナンシャルグループ(以下「MHFG」という)及び第一生命ホールディングス株式会社(以下「第一生命」という)の資産運用ビジネス強化・発展に対する強力なコミットメントのもと、統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、MHFGと第一生命両社グループとの連携も最大限活用して、お客さまに最高水準のソリューションを提供するグローバルな運用会社としての飛躍を目指してまいります。

6. 合併比率

「3. 企業結合の方法」の吸収合併における合併比率は以下の通りであります。

会社名	DIAM (存続会社)	MHAM (消滅会社)
合併比率(*)	1	0.0154

(*) 普通株式と種類株式を合算して算定しております。

7. 交付した株式数

「3. 企業結合の方法」の吸収合併において、DIAMは、MHAMの親会社であるMHFGに対して、その所有するMHAMの普通株式103万8,408株につき、DIAMの普通株式490株及び議決権を有しないIA種類株式15,510株を交付しました。

8. 経済的持分比率(議決権比率)

MHFGが企業結合直前に所有していた当社に対する経済的持分比率 50.00%

MHFGが企業結合日に追加取得した当社に対する経済的持分比率 20.00%

MHFGの追加取得後の当社に対する経済的持分比率 70.00%

なお、MHFGが所有する議決権比率については50.00%から51.00%に異動しております。

9. 取得企業を決定するに至った主な根拠

「3. 企業結合の方法」の吸収合併において、法的に消滅会社となるMHAMの親会社であるMHFGが、結合後企業の議決権の過半数を保有することになるため、企業結合の会計上はMHAMが取得企業に該当し、DIAMが被取得企業となるものです。

10. 会計処理

「企業結合に関する会計基準」(企業結合会計基準第21号 平成25年9月13日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日公表分)に基づき、「3. 企業結合の方法」の吸収合併及びの吸収分割については共通支配下の取引として処理し、の吸収合併については逆取得として処理しております。

11. 被取得企業に対してパーチェス法を適用した場合に関する事項

(1) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	MHAMの普通株式	144,212百万円
取得原価		144,212百万円

(2) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

a. 発生したのれん	金額	76,224百万円
b. 発生原因		被取得企業から受け入れた資産及び引き受けた負債の純額と取得原価との差額によります。
c. のれんの償却方法及び償却期間		20年間の均等償却

(3) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

a. 資産の額	資産合計	40,451百万円
	うち現金・預金	11,605百万円
	うち金銭の信託	11,792百万円
b. 負債の額	負債合計	9,256百万円
	うち未払手数料及び未払費用	4,539百万円

(注) 顧客関連資産に配分された金額及びそれに係る繰延税金負債は、資産の額及び負債の額には含まれておりません。

(4) のれん以外の無形固定資産に配分された金額及び主要な種類別の内訳並びに全体及び主要な種類別の加重平均償却期間

a. 無形固定資産に配分された金額	53,030百万円
b. 主要な種類別の内訳	
顧客関連資産	53,030百万円
c. 全体及び主要な種類別の加重平均償却期間	
顧客関連資産	16.9年

12. 被取得企業に対してパーチェス法を適用した場合の差額

(1) 貸借対照表項目

	第39期 (2024年3月31日現在)	第40期 (2025年3月31日現在)
流動資産	- 百万円	- 百万円
固定資産	60,761百万円	53,066百万円
資産合計	60,761百万円	53,066百万円
流動負債	- 百万円	- 百万円
固定負債	1,957百万円	561百万円
負債合計	1,957百万円	561百万円
純資産	58,804百万円	52,505百万円

(注) 固定資産及び資産合計には、のれん及び顧客関連資産の金額が含まれております。

のれん	47,640百万円	43,829百万円
顧客関連資産	17,109百万円	13,661百万円

(2) 損益計算書項目

	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業収益	- 百万円	- 百万円
営業利益	7,649百万円	7,259百万円
経常利益	7,649百万円	7,259百万円
税引前当期純利益	7,649百万円	7,259百万円
当期純利益	6,474百万円	6,298百万円
1株当たり当期純利益	161,850円28銭	157,468円47銭
(注) 営業利益には、のれん及び顧客関連資産の償却額が含まれております。		
のれんの償却額	3,811百万円	3,811百万円
顧客関連資産の償却額	3,837百万円	3,447百万円

(共通支配下の取引等)

当社は、2024年4月1日に株式会社みずほフィナンシャルグループ(以下「MHFG」という。親会社)及び第一生命ホールディングス株式会社(その他の関係会社)へ以下の現物配当を行いました。

1. 取引の概要

(1) 取引内容

Asset Management One USA Inc.(当社の子会社)株式の現物配当

(2) 効力発生日

2024年4月1日

(3) 取引の総額

575百万円

(4) その他取引の概要に関する事項

本現物配当は、MHFGの子会社である米州みずほLLCが、2024年10月1日に米国外国銀行規制上の中間持株会社へ移行することに伴う規制上の対応として実施したものです。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成31年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(資産除去債務関係)

当社は建物所有者との間で不動産賃貸借契約を締結しており、賃借期間終了時に原状回復する義務を有しているため、契約及び法令上の資産除去債務を認識しております。

なお、当該賃貸借契約に関連する長期差入保証金(敷金)が計上されているため、資産除去債務の負債計上に代えて、当該敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当期の負担に属する金額を費用計上し、直接減額しております。

(収益認識関係)

1. 収益の分解情報

収益の構成は次の通りです。

	第39期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	第40期 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
委託者報酬	102,113百万円	111,988百万円
運用受託報酬	15,156百万円	16,520百万円
投資助言報酬	2,211百万円	2,374百万円
成功報酬(注)	1,999百万円	1,754百万円
その他営業収益	26百万円	30百万円
合計	121,507百万円	132,668百万円

(注) 成功報酬は、損益計算書において委託者報酬及び運用受託報酬に含めて表示しております。

2. 収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は「重要な会計方針 6. 収益及び費用の計上基準」に記載の通りであります。

(セグメント情報等)

1. セグメント情報

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

第39期(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)及び第40期(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(1) サービスごとの情報

サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

営業収益

本邦の外部顧客に対する営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する営業収益で損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社はPayPayアセットマネジメント株式会社の株式を取得し持分法適用関連会社としておりますが、重要性が乏しいため、関連会社に対する投資の金額等の記載を省略しております。

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(1) 親会社及び法人主要株主等

第39期(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当はありません。

第40期(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

属性	会社等の名称	住所	資本金 又は 出資金	事業 の内容 又は 職業	議決権 等の所 有(被 所有) 割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
						役員 の兼 任等	事業上 の関係				
親会社	株式会社 みずほ フィナン シャルグ ループ	東京都 千代田 区	22,567 億円	持株 会社	(被所 有) 直接 51%	-	持株会社	現物配当	402	-	-
その他 の関 係 会 社	第一生命 ホール ディング ス株式 会社	東京都 千代田 区	3,443 億円	持株 会社	(被所 有) 直接 49%	-	持株会社	現物配当	172	-	-

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注) 現物配当の詳細については、(株主資本等変動計算書関係)2. 配当に関する事項及び(企業結合等関係)(共通支配下の取引等)に記載しております。

(2) 子会社及び関連会社等

第39期(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

該当はありません。

第40期(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当はありません。

(3) 兄弟会社等

第39期(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

属性	会社等の名称	住所	資本金 又は 出資金	事業 の内容 又は 職業	議決権 等の所 有(被 所有) 割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
						役員 の兼 任等	事業上 の関係				
親会 社の 子 会 社	株式会社 みずほ銀 行	東京都 千代田 区	14,040 億円	銀行 業	-	-	当社設定 投資信託 の販売	投資信託の 販売代行手 数料	8,140	未払 手数料	1,870
	みずほ証 券株式 会社	東京都 千代田 区	1,251 億円	証券 業	-	-	当社設定 投資信託 の販売	投資信託の 販売代行手 数料	16,655	未払 手数料	3,137

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 投資信託の販売代行手数料は、一般的取引条件を勘案した個別契約により決定しております。

(注2) 上記の取引金額には消費税等が含まれておりません。期末残高には、消費税等が含まれております。

第40期(自2024年4月1日至2025年3月31日)

属性	会社等の名称	住所	資本金 又は 出資金	事業 の内容 又は 職業	議決権 等の所 有(被 所有) 割合	関係内容		取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
						役員 の兼 任等	事業上 の関 係				
親会 社の 子会 社	株式会社 みずほ銀 行	東京都 千代田 区	14,040 億円	銀行 業	-	-	当社設定 投資信託 の販売	投資信託の 販売代行手 数料	9,048	未払 手数料	1,976
	みずほ証 券株式会 社	東京都 千代田 区	1,251 億円	証券 業	-	-	当社設定 投資信託 の販売	投資信託の 販売代行手 数料	20,086	未払 手数料	3,306

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1) 投資信託の販売代行手数料は、一般的取引条件を勘案した個別契約により決定しております。
(注2) 上記の取引金額には消費税等が含まれておりません。期末残高には、消費税等が含まれております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

株式会社みずほフィナンシャルグループ

(東京証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務諸表

該当はありません

(1株当たり情報)

	第39期 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)	第40期 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)
1株当たり純資産額	2,021,173円74銭	2,107,956円73銭
1株当たり当期純利益金額	321,310円79銭	358,173円51銭

(注1) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載して
おりません。

(注2) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第39期 (自2023年4月1日 至2024年3月31日)	第40期 (自2024年4月1日 至2025年3月31日)
当期純利益金額	12,852百万円	14,326百万円
普通株主及び普通株主と同等の株 主に帰属しない金額	-	-
普通株式及び普通株式と同等の株 式に係る当期純利益金額	12,852百万円	14,326百万円
普通株式及び普通株式と同等の株 式の期中平均株式数	40,000株	40,000株
(うち普通株式)	(24,490株)	(24,490株)
(うちA種種類株式)	(15,510株)	(15,510株)

(注1) A種種類株式は、剰余金の配当請求権及び残余財産分配請求権について普通株式と同等の権利を
有しているため、1株当たり情報の算定上、普通株式に含めて計算しています。

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

		第41期中間会計期間末 (2025年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産		
現金・預金		35,621
金銭の信託		31,531
未収委託者報酬		20,567
未収運用受託報酬		4,102
未収投資助言報酬		366
未収収益		15
前払費用		1,636
その他		2,150
	流動資産計	95,993
固定資産		
有形固定資産		
建物	1	787
器具備品	1	437
リース資産	1	2
建設仮勘定		22
無形固定資産		
ソフトウェア		2,417
ソフトウェア仮勘定		1,173
電話加入権		0
投資その他の資産		
投資有価証券		183
関係会社株式		3,514
長期差入保証金		778
繰延税金資産		3,037
その他		233
	固定資産計	12,588
資産合計		108,581

(単位:百万円)

	第41期中間会計期間末 (2025年9月30日現在)
(負債の部)	
流動負債	
預り金	314
リース債務	1
未払金	9,144
未払収益分配金	1
未払償還金	0
未払手数料	9,070
その他未払金	72
未払費用	11,298
未払法人税等	2,382
未払消費税等	1,043
契約負債	1
賞与引当金	943
役員賞与引当金	28
流動負債計	25,158
固定負債	
リース債務	1
退職給付引当金	2,775
時効後支払損引当金	53
固定負債計	2,830
負債合計	27,988
(純資産の部)	
株主資本	
資本金	2,000
資本剰余金	19,552
資本準備金	2,428
その他資本剰余金	17,124
利益剰余金	59,040
利益準備金	123
その他利益剰余金	58,917
別途積立金	31,680
繰越利益剰余金	27,237
株主資本計	80,593
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	0
評価・換算差額等計	0
純資産合計	80,593
負債・純資産合計	108,581

(2) 中間損益計算書

(単位:百万円)

	第41期中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
営業収益		
委託者報酬	57,558	
運用受託報酬	8,464	
投資助言報酬	1,065	
その他営業収益	12	
	営業収益計	67,100
営業費用		
支払手数料	25,227	
広告宣伝費	116	
調査費	20,339	
調査費	7,529	
委託調査費	12,810	
委託計算費	155	
営業雑経費	343	
通信費	18	
印刷費	219	
協会費	33	
諸会費	28	
支払販売手数料	42	
	営業費用計	46,182
一般管理費		
給料	5,333	
役員報酬	92	
給料・手当	5,213	
賞与	27	
交際費	35	
寄付金	11	
旅費交通費	143	
租税公課	312	
不動産賃借料	600	
退職給付費用	216	
固定資産減価償却費	1	688
福利厚生費	29	
修繕費	0	
賞与引当金繰入額	943	
役員賞与引当金繰入額	28	
機器リース料	0	
事務委託費	1,793	
事務用消耗品費	29	
器具備品費	0	
諸経費	92	
	一般管理費計	10,260
営業利益		10,657

(単位:百万円)

	第41期中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
営業外収益		
受取利息	25	
受取配当金	323	
時効成立分配金・償還金	0	
為替差益	2	
金銭の信託運用益	318	
雑収入	2	
時効後支払損引当金戻入額	9	
	営業外収益計	681
営業外費用		
投資信託償還損	0	
	営業外費用計	0
経常利益		11,339
特別利益		
固定資産売却益	0	
	特別利益計	0
特別損失		
固定資産除却損	0	
関係会社株式評価損	523	
	特別損失計	524
税引前中間純利益		10,815
法人税、住民税及び事業税		2,296
法人税等調整額		804
法人税等合計		3,100
中間純利益		7,715

(3) 中間株主資本等変動計算書

第41期中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金	
					別途 積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	2,000	2,428	17,124	19,552	123	31,680	30,962
当中間期変動額							
剰余金の配当							11,440
中間純利益							7,715
株主資本以外 の項目の 当中間期変 動額(純額)							
当中間期変動額 合計	-	-	-	-	-	-	3,724
当中間期末残高	2,000	2,428	17,124	19,552	123	31,680	27,237

	株主資本		評価・換算差額等		純資産 合計
	利益剰余金	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
	利益剰余金 合計				
当期首残高	62,765	84,318	0	0	84,318
当中間期変動額					
剰余金の配当	11,440	11,440			11,440
中間純利益	7,715	7,715			7,715
株主資本以外 の項目の 当中間期変 動額(純額)			0	0	0
当中間期変動額 合計	3,724	3,724	0	0	3,724
当中間期末残高	59,040	80,593	0	0	80,593

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1) 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 市場価格のない株式等以外のもの 中間決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定) 市場価格のない株式等 移動平均法による原価法</p>						
2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法						
3. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産(リース資産を除く) 定率法を採用しております。ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は次のとおりであります。</p> <table border="0" data-bbox="587 734 943 808"> <tr> <td>建物</td> <td>...</td> <td>8~18年</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>...</td> <td>3~20年</td> </tr> </table> <p>(2) 無形固定資産(リース資産を除く) 定額法を採用しております。 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。</p> <p>(3) リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。</p>	建物	...	8~18年	器具備品	...	3~20年
建物	...	8~18年					
器具備品	...	3~20年					
4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準	外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物等為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。						
5. 引当金の計上基準	<p>(1) 賞与引当金は、従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額に基づき当中間会計期間に見合う分を計上しております。</p> <p>(2) 役員賞与引当金は、役員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額に基づき当中間会計期間に見合う分を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、退職一時金制度について、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。</p> <p>退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間会計期間末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。</p> <p>数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法 過去勤務費用については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(5年)による定額法により按分した額を費用処理しております。</p> <p>数理計算上の差異については、各事業年度の発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(5年または10年)による定額法により按分した額を、それぞれ発生の日翌事業年度から費用処理しております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金は、時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p>						

6. 収益及び費用の計上基準	<p>当社は、資産運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬及び投資助言報酬を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。</p> <p>(1) 委託者報酬 委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき、日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>(2) 運用受託報酬 運用受託報酬は、投資顧問契約で定められた報酬に基づき、確定した報酬を顧問口座によって主に年1回又は2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>(3) 投資助言報酬 投資助言報酬は、投資助言契約で定められた報酬に基づき、確定した報酬を顧問口座によって主に年2回又は4回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。</p> <p>(4) 成功報酬 成功報酬は、対象となる投資信託または顧問口座の特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬は成功報酬を受領する権利が確定した時点で収益として認識しております。</p>
----------------	---

注記事項

(中間貸借対照表関係)

項目	第41期中間会計期間末 (2025年9月30日現在)
1.有形固定資産の減価償却累計額	建物 ... 794百万円 器具備品 ... 763百万円 リース資産 ... 6百万円
2.消費税等の取扱い	仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。

(中間損益計算書関係)

項目	第41期中間会計期間 (自2025年4月1日至2025年9月30日)
1.減価償却実施額	有形固定資産 ... 161百万円 無形固定資産 ... 526百万円

(中間株主資本等変動計算書関係)

第41期中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式の種類	当事業年度期首 株式数(株)	当中間会計期間 増加株式数(株)	当中間会計期間 減少株式数(株)	当中間会計期間末 株式数(株)
普通株式	24,490	-	-	24,490
A種種類株式	15,510	-	-	15,510
合計	40,000	-	-	40,000

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の 種類	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2025年6月16日 定時株主総会	普通株式	11,440	286,000	2025年3月31日	2025年6月17日
	A種種類 株式				

(2) 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間後となるもの
該当事項はありません。

(金融商品関係)

第41期中間会計期間末(2025年9月30日現在)

1.金融商品の時価等に関する事項

2025年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

	中間貸借対照表計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
(1) 金銭の信託	31,531	31,531	-
(2) 投資有価証券 其他有価証券	0	0	-
資産計	31,532	31,532	-

(注) 現金・預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬及び未払手数料は、短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、注記を省略しております。

2.金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

時価で中間貸借対照表に計上している金融商品

区分	時価(百万円)			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金銭の信託	-	31,531	-	31,531
投資有価証券				
其他有価証券	-	0	-	0
資産計	-	31,532	-	31,532

(注1) 時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産(銀行預金・委託証拠金等)で構成されております。

信託財産を構成する金融商品の時価について、投資信託は基準価額、デリバティブ取引は、取引相手先金融機関より提示された価格によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

投資有価証券

投資有価証券は市場における取引価格が存在しない投資信託であり、基準価額を時価としております。

(注2) 市場価格のない株式等の貸借対照表計上額は次の通りであります。
これらについては、「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号2020年3月31日)第5項に従い、金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項で開示している表中には含めておりません。

区分	中間貸借対照表計上額 (百万円)
投資有価証券(その他有価証券)	
非上場株式	182
関係会社株式	
非上場株式	3,514

(有価証券関係)

第41期中間会計期間末

(2025年9月30日現在)

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式(中間貸借対照表計上額3,514百万円)については市場価格がないことから、貸借対照表日における時価及び貸借対照表計上額と当該時価との差額の記載は省略しております。

2. その他有価証券

区分	中間貸借対照表 計上額(百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの 投資信託	-	-	-
小計	-	-	-
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの 投資信託	0	1	0
小計	0	1	0
合計	0	1	0

(注) 非上場株式(中間貸借対照表計上額182百万円)については、市場価格がないことから、上表に含めておりません。

(持分法損益等)

当社はPayPayアセットマネジメント株式会社の株式を取得し持分法適用関連会社としておりますが、重要性が乏しいため、関連会社に対する投資の金額等の記載を省略しております。

（企業結合等関係）

当社（以下「AMOne」という）は、2016年7月13日付で締結した、DIAMアセットマネジメント株式会社（以下「DIAM」という）、みずほ投信投資顧問株式会社（以下「MHAM」という）、みずほ信託銀行株式会社（以下「TB」という）及び新光投信株式会社（以下「新光投信」という）（以下総称して「統合4社」という）間の「統合契約書」に基づき、2016年10月1日付で統合いたしました。

1. 結合当事企業

結合当事企業	DIAM	MHAM	TB	新光投信
事業の内容	投資運用業務、投資助言・代理業務	投資運用業務、投資助言・代理業務	信託業務、銀行業務、投資運用業務	投資運用業務、投資助言・代理業務

2. 企業結合日

2016年10月1日

3. 企業結合の方法

MHAMを吸収合併存続会社、新光投信を吸収合併消滅会社とする吸収合併、TBを吸収分割会社、吸収合併後のMHAMを吸収分割承継会社とし、同社がTB資産運用部門に係る権利義務を承継する吸収分割、DIAMを吸収合併存続会社、MHAMを吸収合併消滅会社とする吸収合併の順に実施しております。

4. 結合後企業の名称

アセットマネジメントOne株式会社

5. 企業結合の主な目的

当社は、株式会社みずほフィナンシャルグループ（以下「MHFG」という）及び第一生命ホールディングス株式会社（以下「第一生命」という）の資産運用ビジネス強化・発展に対する強力なコミットメントのもと、統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、MHFGと第一生命両社グループとの連携も最大限活用して、お客さまに最高水準のソリューションを提供するグローバルな運用会社としての飛躍を目指してまいります。

6. 合併比率

「3. 企業結合の方法」の吸収合併における合併比率は以下の通りであります。

会社名	DIAM (存続会社)	MHAM (消滅会社)
合併比率(*)	1	0.0154

(*) 普通株式と種類株式を合算して算定しております。

7. 交付した株式数

「3. 企業結合の方法」の吸収合併において、DIAMは、MHAMの親会社であるMHFGに対して、その所有するMHAMの普通株式103万8,408株につき、DIAMの普通株式490株及び議決権を有しないIA種種類株式15,510株を交付しました。

8. 経済的持分比率（議決権比率）

MHFGが企業結合直前に所有していた当社に対する経済的持分比率 50.00%

MHFGが企業結合日に追加取得した当社に対する経済的持分比率 20.00%

MHFGの追加取得後の当社に対する経済的持分比率 70.00%

なお、MHFGが所有する議決権比率については50.00%から51.00%に異動しております。

9. 取得企業を決定するに至った主な根拠

「3. 企業結合の方法」の吸収合併において、法的に消滅会社となるMHAMの親会社であるMHFGが、結合後企業の議決権の過半数を保有することになるため、企業結合の会計上はMHAMが取得企業に該当し、DIAMが被取得企業となるものです。

10. 会計処理

「企業結合に関する会計基準」(企業結合会計基準第21号 平成25年9月13日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日公表分)に基づき、「3. 企業結合の方法」の吸収合併及びの吸収分割については共通支配下の取引として処理し、の吸収合併については逆取得として処理しております。

11. 被取得企業に対してパーチェス法を適用した場合に関する事項

(1) 中間財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年4月1日から2025年9月30日まで

(2) 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価 MHAMの普通株式 144,212百万円

取得原価 144,212百万円

(3) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

a. 発生したのれん金額 76,224百万円

b. 発生原因 被取得企業から受け入れた資産及び引き受けた負債の純額と取得原価との差額によります。

c. のれんの償却方法及び償却期間 20年間の均等償却

(4) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

a. 資産の額 資産合計 40,451百万円

うち現金・預金 11,605百万円

うち金銭の信託 11,792百万円

b. 負債の額 負債合計 9,256百万円

うち未払手数料及び未払費用 4,539百万円

(注) 顧客関連資産に配分された金額及びそれに係る繰延税金負債は、資産の額及び負債の額には含まれておりません。

(5) のれん以外の無形固定資産に配分された金額及び主要な種類別の内訳並びに全体及び主要な種類別の加重平均償却期間

a. 無形固定資産に配分された金額 53,030百万円

b. 主要な種類別の内訳

顧客関連資産 53,030百万円

c. 全体及び主要な種類別の加重平均償却期間

顧客関連資産 16.9年

12. 被取得企業に対してパーチェス法を適用した場合の差額

(1) 貸借対照表項目

流動資産	- 百万円
固定資産	50,436百万円
資産合計	50,436百万円
流動負債	- 百万円
固定負債	897百万円
負債合計	897百万円
純資産	49,539百万円

(注) 固定資産及び資産合計には、のれんの金額41,923百万円及び顧客関連資産の金額12,132百万円が含まれております。

(2) 損益計算書項目

営業収益	- 百万円
営業利益	3,434百万円
経常利益	3,434百万円
税引前中間純利益	3,434百万円
中間純利益	2,966百万円
1株当たり中間純利益	74,157円45銭

(注) 営業利益には、のれんの償却額1,905百万円及び顧客関連資産の償却額1,528百万円が含まれております。

(資産除去債務関係)

当社は建物所有者との間で不動産賃貸借契約を締結しており、賃借期間終了時に原状回復する義務を有しているため、契約及び法令上の資産除去債務を認識しております。

なお、当該賃貸借契約に関連する長期差入保証金(敷金)が計上されているため、資産除去債務の負債計上に代えて、当該敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当期の負担に属する金額を費用計上し、直接減額しております。

(収益認識関係)

1. 収益の分解情報

当中間会計期間の収益の構成は次の通りです。

第41期中間会計期間
(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

委託者報酬	56,524百万円
運用受託報酬	8,464百万円
投資助言報酬	1,065百万円
成功報酬(注)	1,034百万円
その他営業収益	12百万円
合計	67,100百万円

(注) 成功報酬は、中間損益計算書において委託者報酬に含めて表示しております。

2. 収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は「重要な会計方針 6. 収益及び費用の計上基準」に記載の通りであります。

(セグメント情報等)

第41期中間会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1.セグメント情報

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2.関連情報

(1)サービスごとの情報

サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2)地域ごとの情報

営業収益

本邦の外部顧客に対する営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3)主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する営業収益で損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

第41期中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
1株当たり純資産額	2,014,834円17銭
1株当たり中間純利益金額	192,877円36銭

(注)潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

1株当たり中間純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第41期中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益金額	7,715百万円
普通株主及び普通株主と同等の株主に帰属しない金額	-
普通株式及び普通株式と同等の株式に係る中間純利益金額	7,715百万円
普通株式及び普通株式と同等の株式の期中平均株式数	40,000株
(うち普通株式)	(24,490株)
(うちA種種類株式)	(15,510株)

(注) A種種類株式は、剰余金の配当請求権及び残余財産分配請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、1株当たり情報の算定上、普通株式に含めて計算しています。

独立監査人の監査報告書

2025年5月22日

アセットマネジメントOne株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森 重 俊 寛指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 稲 葉 宏 和

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているアセットマネジメントOne株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの第40期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、アセットマネジメントOne株式会社の2025年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業的前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業的前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注1）上記の監査報告書の原本は当社（有価証券報告書提出会社）が別途保管しております。

（注2）XBRLデータは監査の対象には含まれておりません。

独立監査人の中間監査報告書

2025年11月21日

アセットマネジメントOne株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森 重 俊 寛指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 稲 葉 宏 和

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているアセットマネジメントOne株式会社の2025年4月1日から2026年3月31日までの第41期事業年度の中間会計期間(2025年4月1日から2025年9月30日まで)に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、アセットマネジメントOne株式会社の2025年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間(2025年4月1日から2025年9月30日まで)の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業的前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業的前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注1）上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

（注2）X B R L データは中間監査の対象には含まれておりません。

独立監査人の中間監査報告書

2026年2月27日

アセットマネジメントOne株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 稲葉 宏和
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているマスターズ・マルチアセット・ファンド(安定型)の2025年7月1日から2025年12月31日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、マスターズ・マルチアセット・ファンド(安定型)の2025年12月31日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間(2025年7月1日から2025年12月31日まで)の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、アセットマネジメントOne株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

アセットマネジメントOne株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注1) 上記の中間監査報告書の原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。

(注2) XBR Lデータは監査の対象には含まれておりません。

独立監査人の中間監査報告書

2026年2月27日

アセットマネジメントOne株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 稲葉 宏和
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているマスターズ・マルチアセット・ファンド(バランス型)の2025年7月1日から2025年12月31日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、マスターズ・マルチアセット・ファンド(バランス型)の2025年12月31日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間(2025年7月1日から2025年12月31日まで)の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、アセットマネジメントOne株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

アセットマネジメントOne株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注1) 上記の中間監査報告書の原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。

(注2) XBR Lデータは監査の対象には含まれておりません。

独立監査人の中間監査報告書

2026年2月27日

アセットマネジメントOne株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 稲葉 宏和
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているマスターズ・マルチアセット・ファンド(積極型)の2025年7月1日から2025年12月31日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、マスターズ・マルチアセット・ファンド(積極型)の2025年12月31日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間(2025年7月1日から2025年12月31日まで)の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、アセットマネジメントOne株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

アセットマネジメントOne株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注1) 上記の中間監査報告書の原本は当社(有価証券報告書提出会社)が別途保管しております。

(注2) XBR Lデータは監査の対象には含まれておりません。